

令和元年度

石川県歳入歳出決算審査意見書
基金の運用状況審査意見書

石川県監査委員

目 次

令和元年度石川県歳入歳出決算審査意見書

第1 審査の概要	1
1 審査の対象	1
2 審査の方法	1
第2 審査の結果及び意見	2
1 審査の結果	2
2 審査の意見	2
(1) 決算の状況	2
(2) 総括的意見	5
(3) 個別的意见	6
第3 決算の概要	11
1 決算の状況	11
(1) 一般会計	11
(2) 特別会計（証紙特別会計以下13会計）	13
2 実質収支及び単年度収支の状況	15
3 個別決算の状況	18
(1) 一般会計歳入決算	18
(2) 一般会計歳出決算	32
(3) 特別会計歳入歳出決算	56
(4) 県有財産	74

令和元年度定額の資金を運用する基金の運用状況審査意見書

第1 審査の概要	83
1 審査の対象	83
2 審査の方法	83
第2 審査の結果及び意見	83
1 審査の結果	83
2 審査の意見	83
第3 運用の状況	84
1 石川県土地開発基金	84
2 石川県自治振興資金貸付基金	84
付 表	85

(注：記載金額、構成比については、表示単位未満を四捨五入しているため、計数又は合計と一致しないことがある。)

令和元年度石川県歳入歳出
決 算 審 査 意 見 書

第1 審査の概要

1 審査の対象

令和元年度歳入歳出決算審査の対象とした会計は、次の14会計である。

- 石川県一般会計
- 石川県証紙特別会計
- 石川県土地取得特別会計
- 石川県国民健康保険特別会計
- 石川県母子父子寡婦福祉資金特別会計
- 石川県中小企業近代化資金貸付金特別会計
- 石川県就農支援資金特別会計
- 石川県林業改善資金特別会計
- 石川県沿岸漁業改善資金特別会計
- 石川県公営競馬特別会計
- 石川県港湾整備特別会計
- 石川県流域下水道特別会計
- 石川県育英資金特別会計
- 石川県公債管理特別会計

2 審査の方法

決算の審査に当たっては、石川県監査委員監査基準（令和2年石川県監査委員告示第1号）に基づき、歳入歳出決算書、実質収支に関する調書、歳入歳出決算事項別明細書及び財産に関する調書について、

- ・決算の計数は、正確であるか
- ・予算は、議決の趣旨に沿って効率的に執行されているか
- ・会計経理事務は、関係法規に従って適正に処理されているか
- ・財産の取得、管理及び処分は、適正に処理されているか

を主眼として、関係諸帳簿、証書類及び指定金融機関からの収支証明書を調査照合するとともに、必要書類の提出を求めて関係者から説明を聴取し、さらに定期監査及び例月出納検査の結果も参考にして審査した。

第2 審査の結果及び意見

1 審査の結果

一般会計及び特別会計の歳入歳出決算の計数は、関係諸帳簿、証書類及び指定金融機関の計数と符合しており、決算その他関係書類が法令に適合し、かつ正確なものと認める。

また、予算の執行や会計経理・財産管理等財務に関する事務の執行は、おおむね適正に処理されていると認める。

2 審査の意見

(1) 決算の状況

令和元年度当初予算は、東京オリンピック・パラリンピックや、令和5年春の北陸新幹線県内全線開業といった、本県の交流人口を大きく拡大させるチャンスを確実に活かし、本県を日本海側のトップランナーへと飛躍・発展させるため、「石川の個性の磨き上げと交流基盤を活用した交流の拡大」、「将来にわたり本県経済を支える強い産業づくり」、「県民生活の安全・安心のさらなる確保」の3点に特に重点を置いて予算編成が行われた。

また、9月補正予算では、県内でのCSF（豚熱）の野生イノシシへの感染や、国の防災・減災、国土強靭化の緊急対策を受けた安全・安心の取組の促進など、当初予算編成後の情勢変化や事業の進捗等を踏まえ、新たな対応が必要となった施策について予算編成が行われた。

さらに、12月補正予算では、河川改修の促進や緊急輸送道路の整備費等を予算に盛り込むとともに、第1次3月補正予算では、国の経済対策に呼応し、令和2年度実質当初予算として、令和2年度当初予算と一体的に編成したほか、第2次3月補正予算では、新型コロナウイルス感染症対策（PCR検査機器の増設、検査医薬の確保など）や白山白川郷ホワイトロードの斜面崩落対策などについて、第3次3月補正予算では、国の新型コロナウイルス感染症に関する緊急対応策を踏まえた本県としての緊急対応について、それぞれ補正予算の編成が行われた。

こうした一連の補正予算を含めた令和元年度の予算額は、前年度に比べ増加したところである。

ア 一般会計

予算現額（当初予算額にその後の補正予算額を加えた額をいう。）は6,115億8,744万円（前年度からの繰越額396億897万円を含む。）となり、前年度に比べ166億222万円（2.8%）増加している。

* 歳入調定額は5,718億9,059万円で、予算現額に対し93.5%となり、前年度に比べ47億3,496万円（0.8%）増加している。

※調定とは、歳入を徴収しようとするとき、歳入の内容を調査して、収入金額を決定する行為で、歳入調定額は、その決定した額をいう。

歳入決算額は 5,692億761万円で、予算現額に対し 93.1%、調定額に対し 99.5%であり、前年度に比べ 49億1,368万円（0.9%）増加している。

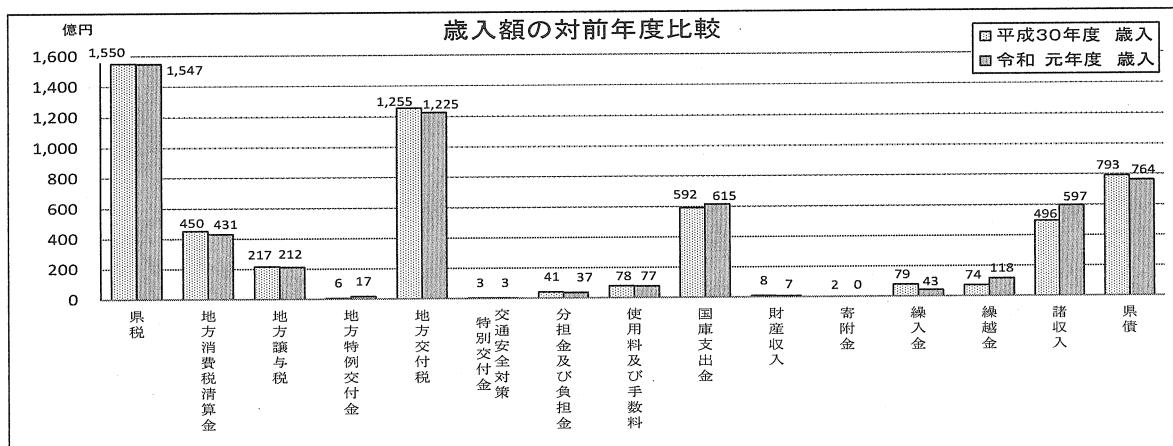
予算現額と歳入決算額との差額は 423億7,983万円で、主なものは、事業繰越などによる国庫支出金 233億6,269万円、県債 175億2,000万円である。

前年度に比べ増加した主なものは、諸収入、繰越金である。

諸収入（決算額 597億4,655万円）については、主にいしかわ中小企業チャレンジ支援ファンド事業貸付金元利収入など 101億1,805万円（20.4%）の増、繰越金（同 117億6,092万円）については、44億109万円（59.8%）の増となっている。

一方、前年度に比べ減少した主なものは、繰入金、地方交付税である。

繰入金（同 42億6,110万円）については、地方交付税精算勘定繰入金など 36億1,537万円（45.9%）の減、地方交付税（同 1,225億3,182万円）については、法人事業税など法人関係税の増や教職員数の減に伴う教育関係経費の減などにより 29億3,767万円（2.3%）の減となっている。



歳出決算額は 5,603億2,722万円で、予算現額に対し 91.6%となり、前年度に比べ 81億6,293万円（1.5%）増加している。

予算現額と歳出決算額との差額は 512億6,022万円で、翌年度繰越額 481億8,197万円と不用額 30億7,825万円である。

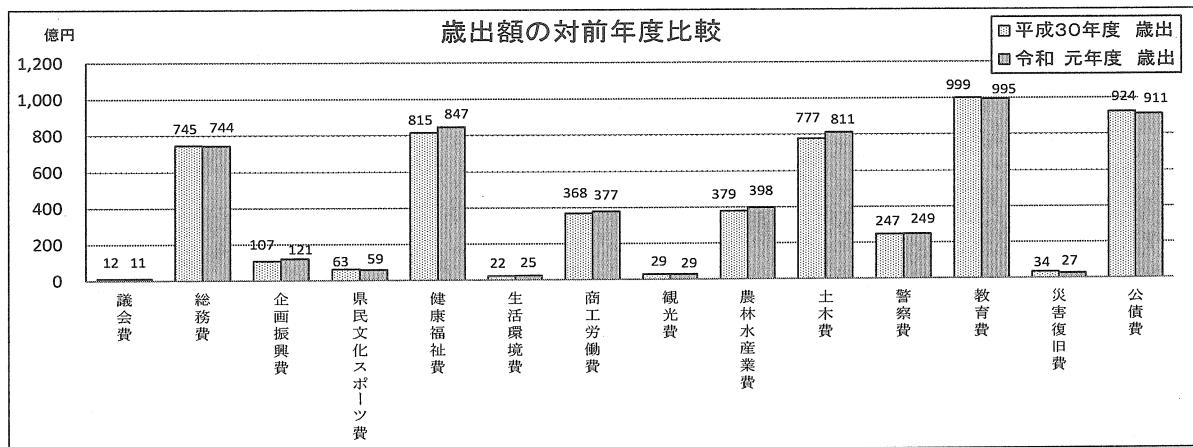
前年度に比べ増加した主なものは、土木費、健康福祉費である。

土木費（同 811億1,190万円）については、防災・減災対策の河川改良に係る工事費などにより 33億6,808万円（4.3%）の増、健康福祉費（同 846億7,305万円）については、児童福祉費や要介護高齢者対策費などにより 31億8,830万円（3.9%）の増となっている。

一方、前年度に比べ減少した主なものは、公債費、災害復旧費である。

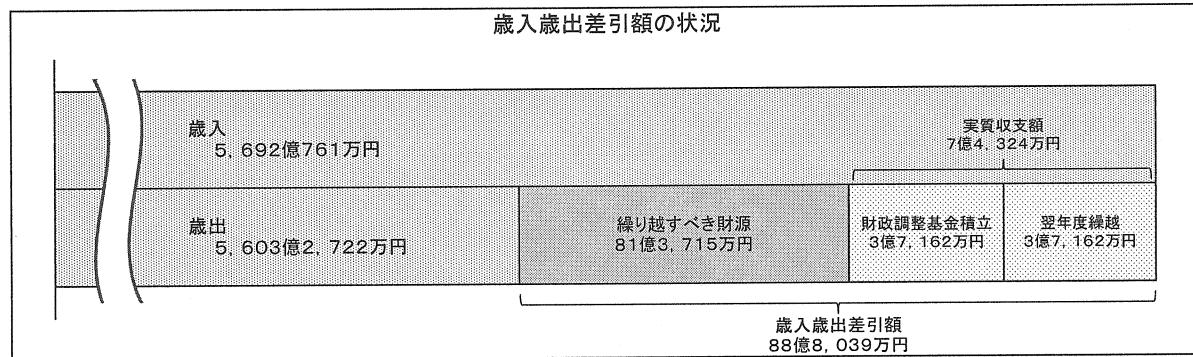
公債費（同 910億5,887万円）については、定時償還額が減少したことにより 13億4,361万円（1.5%）の減、災害復旧費（同 26億9,356万円）については、

7億974万円（20.9%）の減となっている。



以上のことから、一般会計決算額は、歳入決算額が 5,692億761万円、歳出決算額が 5,603億2,722万円である。

したがって、歳入歳出差引額が 88億8,039万円となり、その額から翌年度へ繰り越すべき財源 81億3,715万円を差し引いた実質収支額は 7億4,324万円（前年度 7億3,743万円）の黒字となっており、実質収支額の2分の1に相当する額 3億7,162万円を財政調整基金に積み立て、残額は翌年度へ繰り越している。



イ 特別会計

特別会計13会計の予算現額は 3,458億8,672万円で、前年度に比べ8会計が増加、5会計が減少し、総額で 360億147万円（11.6%）増加している。

歳入調定額は 3,521億6,376万円で、予算現額に対し 101.8%となり、前年度に比べ総額で 357億2,977万円（11.3%）増加している。

歳入決算額は 3,487億2,064万円で、予算現額に対し 100.8%、調定額に対し 99.0%であり、前年度に比べ総額で 357億2,170万円（11.4%）増加している。

前年度に比べ増加した主なものは、公債管理特別会計（決算額 2,102億9,772万円）で、借換債の増などにより 334億4,016万円（18.9%）の増となっている。

一方、前年度に比べ減少した主なものは、港湾整備特別会計（同 20億3,385万

円)で、県債の減などにより 7億770万円(25.8%)の減となっている。

歳出決算額は 3,418億1,882万円で、予算現額に対し 98.8%となり、前年度に比べ総額で 342億8,007万円(11.1%)増加している。

予算現額と歳出決算額との差額は 40億6,791万円で、翌年度繰越額 17億8,735万円と不用額 22億8,055万円である。

前年度に比べ増加した主なものは、公債管理特別会計(同 2,102億9,772万円)で、借換債の償還金の増により 334億4,016万円(18.9%)の増となっている。

一方、前年度に比べ減少した主なものは、港湾整備特別会計(同 20億2,882万円)で、工事請負費の減などにより 6億9,697万円(25.6%)の減となっている。

以上のことから、特別会計決算額は、歳入決算額が 3,487億2,064万円、歳出決算額が 3,418億1,882万円であり、歳入歳出差引額は 69億182万円となり、翌年度に繰り越すべき財源がないことから、実質収支額は 69億182万円(前年度 54億6,019万円)となり、すべての特別会計の実質収支額は黒字(又は収支均衡)となっている。

(2) 総括的意見

当年度の決算は、福祉・医療・介護などの社会保障関係経費が年々増加している中、これまでに取り組んできている行財政改革の効果に加え、県税や地方交付税の確保が図られたことなどから、8年連続で財政調整基金及び減債基金を取り崩すことなく収支均衡を達成したところである。

また、県債残高については、新規発行の抑制や繰上償還の実施などにより、臨時財政対策債を除いた通常債の残高を17年連続で前年度を下回る水準に抑制しており、総額についても平成26年度から6年連続で前年度を下回ったところであるが、新型コロナウイルス感染症が県政に大きな影響を与えて現下の状況に鑑み、令和2年度4月及び6月補正予算において、財政調整基金を取り崩すこととされたところである。

さらに、歳出面では、依然として県債残高の水準が全国的に見て高いことに加え、今後も高齢化の進展などに伴い社会保障関係経費の増加や北陸新幹線敦賀延伸の建設等に伴う公債費の増加も見込まれ、県財政は依然として厳しい状況が続くものと予想されている。

歳入面では、本県経済は、新型コロナウイルス感染症の影響などから、厳しい状況にあり、個人消費や企業の生産活動の減少、有効求人倍率の低下が見られるなど、景気の先行きに対する不確実性が一層増しているところである。

このような中、長期構想(平成28年3月策定)に掲げた基本目標「個性、交流、安心のふるさとづくり」の実現に向け、石川の個性にさらに磨きをかけるとともに、北陸新幹線の金沢開業効果を多方面にわたり最大限活用した人やものの交流の促進や、県民生活の安全・安心のさらなる確保などに積極的に取り組んでいるところである。

今後の財政運営においては、財政調整基金及び減債基金の取り崩しに頼らない持続可能な財政基盤の確立を図る必要があり、このため、県債残高の抑制や年度間の財政負担の平準化に努めるとともに、職員一人ひとりが、貴重な公金を活用して県民サービスの向上を図る強い使命感を持ち、常に、より効果的な事業編成や、より効率的な事業執行などについて、自ら考え行動することを真に求めるものである。

さらに、本年3月に「行政経営プログラム2020」が策定され、「財政健全性の維持・向上」などを取組戦略とする改革に取り組んでいるところであるが、同プログラムの進行管理と評価を徹底し、収支均衡の維持にとどまることなく、必要な資金を基金に積み立てていくなど、将来への備えにも万全を期し、社会経済情勢の変化や多様化する県民ニーズにも機動的に対応できる持続可能な財政運営を図り、長期構想に掲げた目標の実現に努められたい。

(3) 個別的意见

ア 収入未済等について

収入未済額は、一般会計で 24億3,331万円、特別会計で 34億4,264万円、総額で 58億7,595万円となり、前年度に比べ一般会計では 2億7,819万円（10.3%）減少し、特別会計では 762万円（0.2%）増加している。

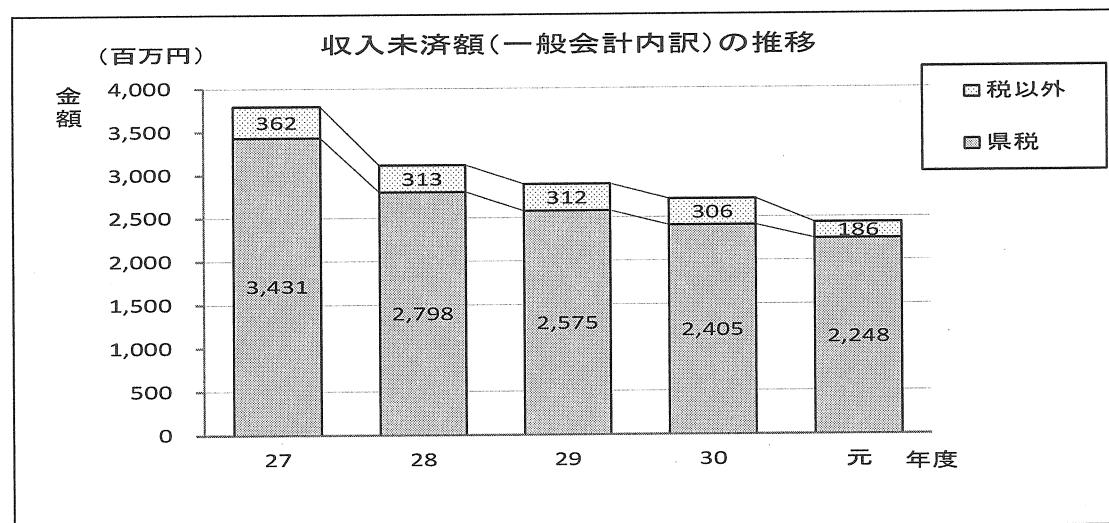
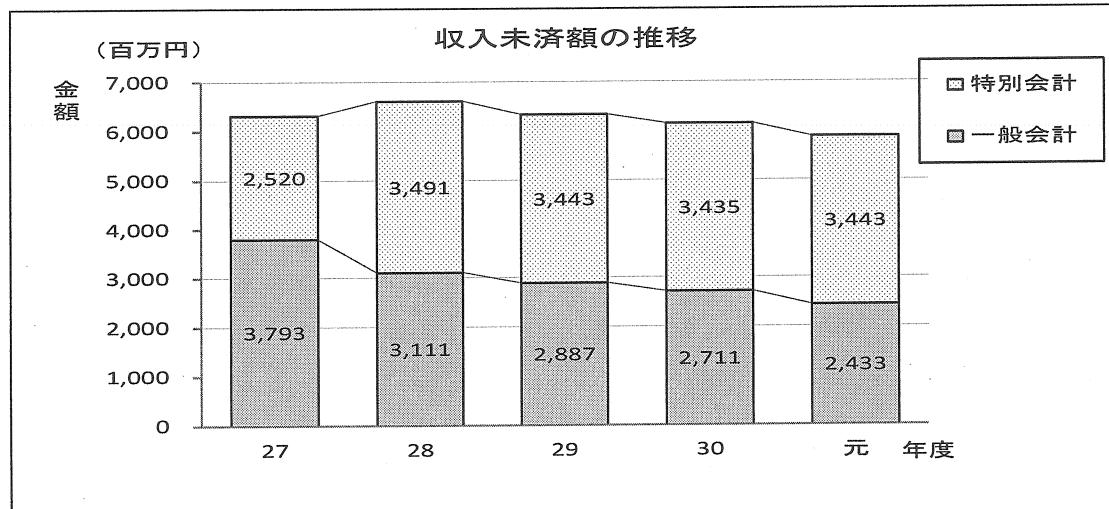
一般会計の収入すべき金額（調定額）に対する収入未済額の割合は、前年度の0.5%から0.4%に減少している。収入未済額の主なものは、県税（本税に延滞金・加算金を合わせたもの）が 22億4,762万円（全体の 92.4%）、県営住宅の使用料が 6,571万円（全体の 2.7%）であり、前年度に比べ県税については 1億5,765万円（6.6%）減少し、県営住宅使用料については 201万円（3.2%）増加している。

特別会計の調定額に対する収入未済額の割合は、前年度の 1.1%から 1.0%に減少している。収入未済額の主なものは、中小企業近代化資金貸付金特別会計が 32億375万円（全体の 93.1%）である。

収入未済の解消、縮減にあっては、県税については、県と参加各市町が共同で地方税滞納整理機構を設置し、徴収体制の拡充強化を図っているほか、口座振替納税の利用を推進していることや、自動車税、個人事業税、不動産取得税をコンビニ納税の対象としていることに加え、令和2年度からはスマートフォンアプリを使った納税を導入し、さらなる納税の利便性向上を図るなど、税収確保に努めているところである。県営住宅使用料については、指定管理者と連携を密にし、分割納入の指導や滞納者に対する法的措置などを行うことで、その効果も一部現れてきているところである。

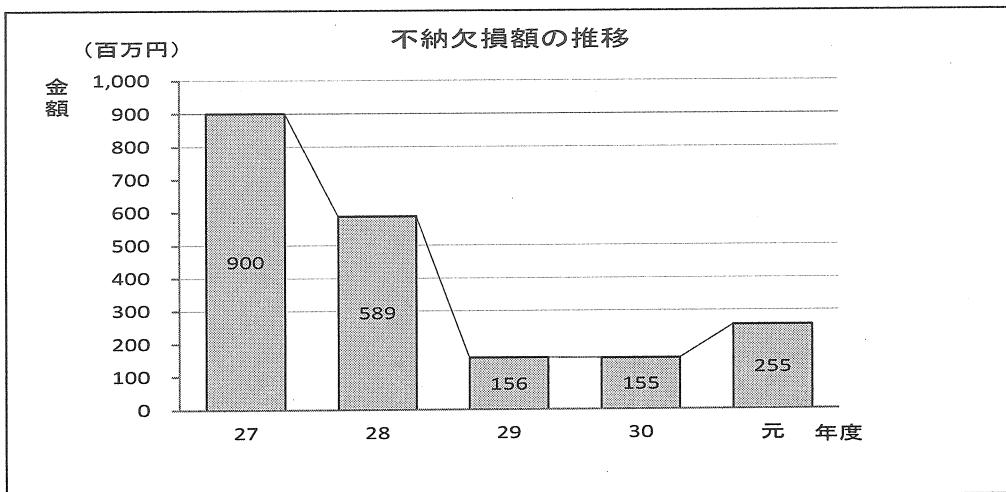
また、貸付金については、個々の実情に応じ、適切な債権確保策を講じるなど積極的な対応を行うことにより、その効果も一部現れてきているものの、債務者の状況に応じて年によって増減が見られるところである。

これら収入未済の中には、回収が、困難なものもあると見込まれるが、債権管理を的確に行い、県民負担の公平と財源確保の観点から、他の都道府県の取組も参考とするなど、滞納の実態に応じた適時・適切な処理に係る取組を強化し、収入未済のさらなる解消と発生防止に一層努められたい。



また、不納欠損額は、一般会計で 2億5,510万円となり、前年度に比べ増加している。

不納欠損額の主なものは、県税で、時効などにより債権が消滅したものである。

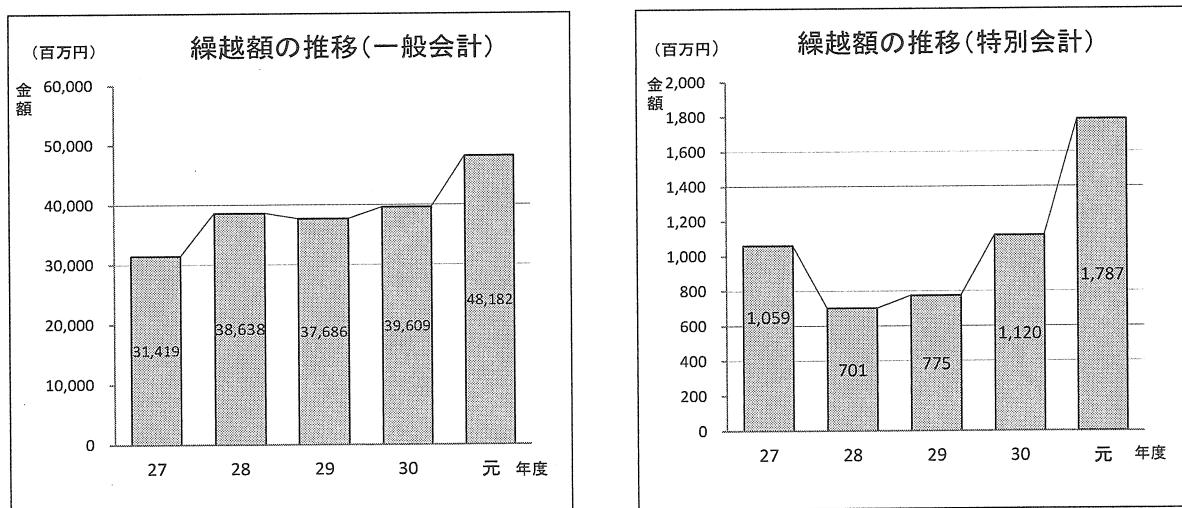


イ 翌年度繰越及び不用額等について

翌年度繰越額は、一般会計で 481億8,197万円、特別会計で 17億8,735万円、総額で 499億6,932万円となり、前年度に比べ一般会計では 85億7,299万円 (21.6%)、特別会計では 6億6,778万円 (59.6%)、それぞれ増加している。一般会計の繰越額の主なものは、土木費 335億3,232万円、農林水産業費 85億2,480万円、企画振興費 14億9,972万円、県民文化スポーツ費 10億5,101万円であり、特別会計の繰越額の主なものは、流域下水道特別会計 17億2,235万円である。

繰り越したこれらの事業には、国の補正予算を受けて措置されたものが多くあるが、その目的に適うよう計画的な執行に努められたい。

また、用地交渉の難航や関係機関との調整に日数を要したものもあるが、事業効果を早期に発現させるためにも適切な工程管理や効率的な執行に努められたい。

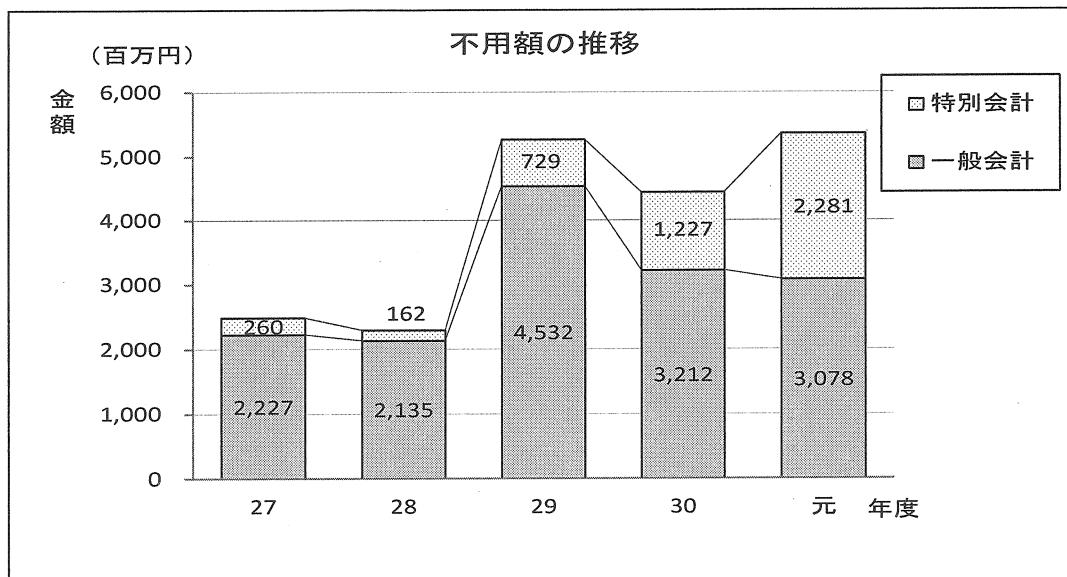


不用額は、一般会計で 30億7,825万円、特別会計で 22億8,055万円、総額で 53億5,880万円となり、前年度に比べ一般会計では 1億3,370万円 (4.2%) 減少

し、特別会計では 10億5,362万円（85.9%）増加している。

一般会計の不用額の主なものは、健康福祉費 10億5,369万円、教育費 8億9,718万円であり、特別会計の不用額の主なものは、国民健康保険特別会計 7億9,041万円、公営競馬特別会計 6億6,582万円である。

不用額が生じたこれらの事業には、年度末に事業費が確定するものがあるなど、やむを得ない面もあるが、事業の実態に応じた適切な予算措置などに努められたい。



ウ 財産の処分等について

活用計画のない遊休財産については、一般競争入札、民間不動産業者への委託に加え、平成25年度からは、インターネット公売を開始するなど、処分の促進を図り、令和元年度においては、普通財産(土地)12件 14,166.26m² (233,425,725円) の売り払いを行ったところである。また、貸付けなどによる県有財産の有効活用に積極的に取り組んでいる。今後とも、歳入の確保等の観点から、遊休財産の早期売却を進めるとともに、売却可能な貸付財産の処分に向け、多様な工夫を重ね、関係機関などと十分連携を図られたい。

普通財産（土地）の売り払いの状況は、次のとおりである。

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年度比較
年度当初 総面積	8,039,943.95m ²	7,993,324.36m ²	7,980,042.82m ²	△ 13,281.54m ²
売 払	件数	16件	21件	△ 9件
	面積	8,030.86m ²	17,427.07m ²	△ 3,260.81m ²
	金額	188,078,843円	314,316,636円	△ 80,890,911円

エ 会計経理事務等における留意又は改善を要する事項について

収入・支出をはじめ会計経理事務等については、依然として適正を欠くものなどが見られたが、その主なものは、次のとおりである。

- (ア) 収入事務では、調定の遅延など
- (イ) 支出事務では、債権者や会計年度の誤り、前渡資金の精算遅延など
- (ウ) 契約事務では、契約方法の誤りなど
- (エ) 財産の管理では、消防用設備の改修遅延など

これらは、財務規則等関係規程の理解が十分ではなかったこと、公金取扱い意識が十分徹底されていなかったこと、数値等の確認が十分ではなかったことなどによる適正を欠く事務処理に加えて、組織内における相互チェック機能が十分働いていなかったことなどにより発生したものと思われる。

したがって、このような事例が生じることのないよう職員の意識改革や研修の充実に努めるとともに、業務の進捗管理や事務処理体制のさらなる強化を図り、適正かつ正確な会計経理事務等の執行が行われるよう万全を期する必要がある。また、財産の管理についても、適正な執行に努められたい。

契約事務については、引き続き入札業務などを適正に行い、競争原理が機能するよう様々な工夫を凝らすなど、十分留意されたい。

なお、地方自治法の改正により、知事部局においては令和2年度から石川県内部統制基本方針に基づき、財務に関する事務を対象に内部統制が実施されている。各所属においては、過去の不適切な事務処理や、今後、不適切な事務処理として発生する可能性がある事項について、所属独自のリスク評価シートを作成するなどして取り組んでいるところであり、各職員がリスク評価シートの項目を共有し、意識して業務を遂行するなど、適正な運用に努められたい。

オ 交通事故について

当年度の定期監査において把握した公用車運行中の不注意による事故は、前年度に把握した件数に比べ 10件増加の 33件で、駐車場内での接触事故など、依然として数多く発生していることから、交通関係法令の遵守はもとより、自動車運転技術向上研修の受講や、職員に対して確実な安全確認など安全運転のさらなる指導の徹底を図り、公用車の運行管理に十分留意し、より一層、交通事故の防止に努められたい。

なお、自動車の安全性能は年々進歩しており、後退時に障害物を検知する装置や自動ブレーキなどの安全装置の導入に努められたい。

第3 決算の概要

1 決算の状況

一般会計及び特別会計の歳入歳出決算の状況は、次のとおりである。

区分	一般会計			特別会計		
	令和元年度	平成30年度	対前年度比較増減	令和元年度	平成30年度	対前年度比較増減
予算現額 (A)	円 611,587,443,542	円 594,985,224,372	円 16,602,219,170	円 345,886,724,652	円 309,885,251,433	円 36,001,473,219
歳入総額 (B)	569,207,609,641	564,293,926,218	4,913,683,423	348,720,635,569	312,998,934,106	35,721,701,463
歳出総額 (C)	560,327,224,585	552,164,295,241	8,162,929,344	341,818,817,646	307,538,744,345	34,280,073,301
歳入歳出差引額 (B) - (C)	8,880,385,056	12,129,630,977	△ 3,249,245,921	6,901,817,923	5,460,189,761	1,441,628,162
予算現額比 に率	歳入総額 (B)/(A) 93.1	% 94.8		% 100.8	% 101.0	
	歳出総額 (C)/(A) 91.6	92.8		98.8	99.2	

(1) 一般会計

予算現額 6,115億8,744万円（前年度からの繰越額 396億897万円を含む。）に対し、歳入総額は 5,692億761万円、歳出総額は 5,603億2,722万円であり、歳入歳出差引額は 88億8,039万円となっている。

当年度の決算額は、諸収入（貸付金元利収入等）などの増により、歳入総額は前年度に比べ増加し、また、土木費（防災・減災対策の河川改良費等）、健康福祉費（児童福祉費等）などの増により、歳出総額も増加している。

ア 岁入の主なものは、

県 稅	1,546億5,444万円	（構成比 27.2%）
地方交付税	1,225億3,182万円	（〃 21.5%）
県 債	764億 300万円	（〃 13.4%）
国庫支出金	615億4,421万円	（〃 10.8%）
諸 収 入	597億4,655万円	（〃 10.5%）

であり、総額は、前年度に比べ 49億1,368万円（0.9%）増加している。（18～31頁参照）

前年度に比べ増加した主なものは、諸収入が 101億1,805万円（増加率 20.4%）、繰越金（117億6,092万円）が 44億109万円（同 59.8%）、国庫支出金が 23億2,126万円（同 3.9%）の増である。

諸収入については、いしかわ中小企業チャレンジ支援ファンド事業貸付金 50億円、いしかわ農業参入支援ファンド事業資金 27億円の貸付金元利収入が増加した

ことなどによるものであり、繰越金については、繰越財源充当額が増加したことによるものである。また、国庫支出金については、土木費国庫補助金が9億9,218万円（同10.5%）、総務費国庫委託金が5億1,861万円（同1,960.9%）増加したことなどによるものである。

一方、前年度に比べ減少した主なものは、繰入金（42億6,110万円）が36億1,537万円（減少率45.9%）、地方交付税が29億3,767万円（同2.3%）の減である。

繰入金については、地方交付税精算勘定繰入金が31億5,400万円（同63.1%）減少したことなどによるものである。

イ 岁出の主なものは、

教 育 費	995億 660万円	（構成比 17.8%）
公 債 費	910億5,887万円	（〃 16.3%）
健康福祉費	846億7,305万円	（〃 15.1%）
土 木 費	811億1,190万円	（〃 14.5%）
総 務 費	743億8,203万円	（〃 13.3%）

であり、総額は、前年度に比べ81億6,293万円（1.5%）増加している。（32～55頁参照）

前年度に比べ増加した主なものは、土木費が33億6,808万円（増加率4.3%）、健康福祉費が31億8,830万円（同3.9%）、農林水産業費（397億9,034万円）が18億8,762万円（同5.0%）の増である。

土木費については、防災・減災対策の河川改良費（工事請負費15億4,384万円の増、補償補填及び賠償金16億3,581万円の増）が46億4,037万円（同59.0%）、港湾管理費が14億6,978万円（同29.4%）増加したことなどによるものである。健康福祉費については、児童福祉費が10億553万円（同11.7%）、要介護高齢者対策費が8億8,199万円（同5.4%）、高齢者保健費が7億7,442万円（同5.1%）が増加したことなどによるものである。農林水産業費については、農業振興費が28億6,921万円（同48.6%）が増加したことなどによるものである。

一方、前年度に比べ減少した主なものは、公債費が13億4,361万円（減少率1.5%）、災害復旧費（26億9,356万円）が7億974万円（同20.9%）の減である。

公債費については、定時償還額が減少したことなどによるものであり、災害復旧費については、土木施設災害復旧費が7億4,732万円（同35.4%）減少したことなどによるものである。

ウ 県債については、当年度中に764億300万円を借り入れする一方、848億3,827万円を償還した結果、当年度末の県債残高は1兆1,898億7,091万円となっており、前年度末に比べ84億3,527万円（0.7%）減少している。

また、償還額の全額が実質的に地方交付税で措置される臨時財政対策債を除いた県債残高は8,013億9,187万円で、前年度末に比べ14億3,762万円減少している。

なお、当年度末の県民一人当たり県債残高は、104万8,674円となっている。(87頁参照)

エ 債務負担行為については、当年度中に 260億2,410万円を新規設定する一方、予算化等により 204億1,208万円減少している。

この結果、当年度末現在高は 447億9,512万円となっており、前年度末に比べ 56億1,201万円 (14.3%) 増加している。(96頁参照)

(2) 特別会計 (証紙特別会計以下13会計)

予算現額 3,458億8,672万円に対し、歳入総額は 3,487億2,064万円、歳出総額は 3,418億1,882万円で、歳入歳出差引額は 69億182万円となっている。

ア 歳入について額の大きい特別会計は、

公債管理特別会計	2,102億9,772万円	(前年度対比 118.9%)
国民健康保険特別会計	1,059億9,578万円	(〃 102.0%)
公営競馬特別会計	184億5,552万円	(〃 105.8%)
証紙特別会計	55億2,057万円	(〃 89.0%)
流域下水道特別会計	34億3,771万円	(〃 126.5%)

であり、全特別会計の歳入総額は、前年度に比べ 357億2,170万円 (11.4%) 増加している。(56~73頁参照)

前年度に比べ増加した主なものは、公債管理特別会計が 334億4,016万円 (増加率 18.9%)、国民健康保険特別会計が 20億3,168万円 (同 2.0%)、公営競馬特別会計が 10億793万円 (同 5.8%) の増である。

公債管理特別会計については、借換債が増加したこと、公営競馬特別会計については、勝馬投票券発売収入が増加したことなどによるものである。

一方、前年度に比べ減少した主なものは、港湾整備特別会計 (20億3,385万円) が 7億770万円 (減少率 25.8%) の減であり、県債等が減少したことなどによるものである。

イ 歳出について額の大きい特別会計は、

公債管理特別会計	2,102億9,772万円	(前年度対比 118.9%)
国民健康保険特別会計	1,030億8,238万円	(〃 101.1%)
公営競馬特別会計	183億5,490万円	(〃 105.6%)
証紙特別会計	42億8,507万円	(〃 88.0%)
流域下水道特別会計	28億5,981万円	(〃 105.3%)

であり、全特別会計の歳出総額は、前年度に比べ 342億8,007万円 (11.1%) 増加している。(56~73頁参照)

前年度に比べ増加した主なものは、公債管理特別会計が 334億4,016万円 (増加

率 18.9%)、国民健康保険特別会計が 10億7,512万円（同 1.1%）の増である。

公債管理特別会計については、借換債に係る償還金が増加したことによるものである。

一方、前年度に比べ減少した主なものは、港湾整備特別会計（20億2,882万円）が 6億9,697万円（減少率 25.6%）の減であり、工事請負費等が減少したことによるものである。

ウ 県債については、当年度中に 17億3,000万円を借り入れする一方、21億9,223万円を償還した結果、当年度末の県債残高は 326億4,651万円となっており、前年度末に比べ 4億6,223万円（1.4%）減少している。

なお、当年度末の県民一人当たり県債残高は、2万8,772円となっている。（87頁参照）

エ 債務負担行為については、当年度中に 9億9,610万円を新規設定する一方、予算化等により 17億6,927万円減少している。

この結果、当年度末現在高は 21億9,057万円となっており、前年度末に比べ 7億7,317万円（26.1%）減少している。（96頁参照）

2 実質収支及び単年度収支の状況

一般会計及び特別会計の実質収支及び単年度収支の状況は、次のとおりである。

区分	一般会計			特別会計		
	令和元年度	平成30年度	対前年度比率	令和元年度	平成30年度	対前年度比率
歳入総額（A）	円 569,207,609,641	円 564,293,926,218	% 100.9	円 348,720,635,569	円 312,998,934,106	% 111.4
歳出総額（B）	円 560,327,224,585	円 552,164,295,241	% 101.5	円 341,818,817,646	円 307,538,744,345	% 111.1
歳入歳出差引額 (A)-(B)=(C)	円 8,880,385,056	円 12,129,630,977	% 73.2	円 6,901,817,923	円 5,460,189,761	% 126.4
翌年度へ 繰り越す べき財源	継続費通次 繰越額	円 0	円 0	円 -	円 0	円 0
	繰越明許費 繰越額	円 8,129,211,857	円 11,392,202,893	円 71.4	円 0	円 0
	事故繰越し 繰越額	円 7,933,400	円 0	円 皆増	円 0	円 0
	計(D)	円 8,137,145,257	円 11,392,202,893	円 71.4	円 0	円 0
実質収支額(C)-(D)	円 743,239,799	円 737,428,084	円 100.8	円 6,901,817,923	円 5,460,189,761	円 126.4
実質収支額のうち地方 自治法第233条の2の 規定による基金繰入額	円 371,620,000	円 368,715,000	円 100.8	円 0	円 0	円 -
単年度収支額	円 5,811,715	△ 52,638,543	円 -	円 1,441,628,162	円 1,994,116,474	円 72.3

一般会計の歳入歳出差引額 88億8,039万円から翌年度へ繰り越すべき財源 81億3,715万円を差し引いた実質収支額は、7億4,324万円の黒字となっており、実質収支額の2分の1に相当する額 3億7,162万円を財政調整基金に積み立て、残額は翌年度へ繰り越している。

なお、実質収支額から前年度の実質収支額を差し引いた単年度収支額については581万円の黒字となっている。

また、特別会計の実質収支額は 69億182万円の黒字で、実質収支額から前年度の実質収支額を差し引いた単年度収支額についても 14億4,163万円の黒字となっている。実質収支額のうち、流域下水道特別会計については、5億7,791万円を、令和2年度の流域下水道事業会計に引き継ぎ、そのほかは翌年度へ繰り越している。

なお、各特別会計の実質収支額は、次のとおりであり、いずれも黒字（又は収支均衡）となっている。

会 計 名	歳 入 総 額 (A)	歳 出 総 額 (B)	実質収支額 (A) - (B)
証 紙	円 5,520,566,536	円 4,285,066,467	円 1,235,500,069
土 地 取 得	6,318,360	6,318,360	0
国 民 健 康 保 險	105,995,777,497	103,082,381,731	2,913,395,766
母 子 父 子 寡 婦 福 祉 資 金	160,437,152	112,866,482	47,570,670
中小企業近代化資金貸付金	659,321,117	470,576,198	188,744,919
就 農 支 援 資 金	75,418,164	75,418,164	0
林 業 改 善 資 金	184,551,839	128,210	184,423,629
沿 岸 漁 業 改 善 資 金	242,378,810	1,089,797	241,289,013
公 営 競 馬	18,455,519,110	18,354,899,864	100,619,246
港 湾 整 備	2,033,852,599	2,028,820,531	5,032,068
流 域 下 水 道	3,437,712,949	2,859,806,248	577,906,701
育 英 資 金	1,651,065,087	243,729,245	1,407,335,842
公 債 管 理	210,297,716,349	210,297,716,349	0
計	348,720,635,569	341,818,817,646	6,901,817,923

3 個別決算の状況

一般会計・特別会計歳入歳出決算及び県有財産の状況は、次の各表のとおりである。

(1) 一般会計歳入決算

一般会計歳入

科 目 (款)	令 和 元				
	予 算 現 額	調 定 額	収 入 济 額	不 納 欠 損 額	収 入 未 济 額
1 県 稅	円 153,967,132,000	円 156,897,999,344	円 154,654,440,304	円 119,340,528	円 2,129,618,612
2 地方消費税清算金	43,095,412,000	43,095,411,852	43,095,411,852	0	0
3 地 方 譲 与 税	21,151,420,000	21,151,419,739	21,151,419,739	0	0
4 地方特例交付金	1,704,905,000	1,704,905,000	1,704,905,000	0	0
5 地 方 交 付 税	122,531,824,000	122,531,824,000	122,531,824,000	0	0
6 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	268,940,000	268,940,000	268,940,000	0	0
7 分担金及び負担金	4,996,674,077	3,674,687,574	3,672,246,989	0	2,440,585
8 使用料及び手数料	7,795,954,000	7,717,851,614	7,709,469,494	0	8,382,120
9 国 庫 支 出 金	84,906,898,372	61,544,210,188	61,544,210,188	0	0
10 財 産 収 入	602,356,000	666,145,838	666,145,838	0	0
11 寄 附 金	35,338,000	37,036,286	37,036,286	0	0
12 繰 入 金	4,285,861,000	4,261,095,460	4,261,095,460	0	0
13 繰 越 金	11,760,915,893	11,760,915,977	11,760,915,977	0	0
14 諸 収 入	60,560,813,200	60,175,146,341	59,746,548,514	135,755,143	292,870,648
15 県 債	93,923,000,000	76,403,000,000	76,403,000,000	0	0
計	611,587,443,542	571,890,589,213	569,207,609,641	255,095,671	2,433,311,965
平成 30 年 度	594,985,224,372	567,155,629,111	564,293,926,218	155,161,569	2,711,498,659
対 前 年 度 比 較 増 減	金 額 率	16,602,219,170 %	4,734,960,102 %	4,913,683,423 %	△ 278,186,694 %
		2.8	0.8	0.9	64.4 △ 10.3

決 算 額 款 別 内 訳

年 度					平成 30 年 度			対前年度 比較増減
収入済額のうち 預付未済額	予算現額に対する 収入済額の増減	調定額に 対する 収入済額 の率 (A)	収入済額 の構成 比	収入済額 の対前年 度比 率	収 入 済 額	調定額に 対する 収入済額 の率 (B)	収入済額 の対前年 度比 率	(A) - (B)
円	円	%	%	%	円	%	%	ポイント
5,400,100	687,308,304	98.6	27.2	99.8	155,022,856,241	98.5	103.5	0.1
0 △	148	100.0	7.6	95.7	45,042,843,049	100.0	103.2	0.0
0 △	261	100.0	3.7	97.7	21,654,756,000	100.0	111.5	0.0
0	0	100.0	0.3	298.4	571,271,000	100.0	114.5	0.0
0	0	100.0	21.5	97.7	125,469,490,000	100.0	98.7	0.0
0	0	100.0	0.1	93.4	287,985,000	100.0	91.4	0.0
0 △	1,324,427,088	99.9	0.6	89.9	4,084,605,385	99.9	98.4	0.0
0 △	86,484,506	99.9	1.4	98.6	7,822,614,521	99.9	99.7	0.0
0 △	23,362,688,184	100.0	10.8	103.9	59,222,948,789	100.0	90.0	0.0
0	63,789,838	100.0	0.1	82.7	805,650,639	100.0	109.7	0.0
0	1,698,286	100.0	0.0	23.6	157,119,425	100.0	53.7	0.0
0 △	24,765,540	100.0	0.7	54.1	7,876,467,218	100.0	169.1	0.0
0	84	100.0	2.1	159.8	7,359,824,916	100.0	120.0	0.0
27,964 △	814,264,686	99.3	10.5	120.4	49,628,494,035	99.1	102.7	0.2
0 △	17,520,000,000	100.0	13.4	96.4	79,287,000,000	100.0	93.2	0.0
5,428,064 △	42,379,833,901	99.5	100.0	100.9	564,293,926,218	99.5	100.1	0.0
4,957,335 △	30,691,298,154							
470,729								
%								
9.5								

第 1 款 県 稅

区分	予算現額	調定額	収入済額	不納	収入	収入済額のうち還付	予算現額に対する収入	予算現額に対する収入	調定額に
				欠損額	未済額	未済額	増減額	率	
令和元年度	円 153,967,132,000	円 156,897,999,344	円 154,654,440,304	円 119,340,528	円 2,129,618,612	円 5,400,100	円 687,308,304	% 100.4	% 98.6
平成30年度	151,033,935,000	157,405,492,353	155,022,856,241	117,125,440	2,270,431,542	4,920,870	3,988,921,241	102.6	98.5
対比 前較 年増 度減 率	金額 2,933,197,000	△ 507,493,009	△ 368,415,937	2,215,088	△ 140,812,930				
	% 1.9	△ 0.3	△ 0.2	% 1.9	△ 6.2				

県税の決算額は、154,654,440,304円で、前年度に比べ 368,415,937円 (0.2%) 減少している。

収入済額の税目別の内訳は、次のとおりである。

区分	令和元年度		平成30年度		対前年度比較増減	
	収入済額	構成比率	収入済額	構成比率	金額	率
県民税	円 49,926,208,794	% 32.3	円 50,226,119,124	% 32.4	円 299,910,330	% 0.6
個人法	人 42,870,812,532	27.7	人 42,822,862,895	27.6	人 47,949,637	0.1
利子割	人 6,838,874,142	4.4	人 6,965,405,623	4.5	人 126,531,481	1.8
事業税	人 216,522,120	0.1	人 437,850,606	0.3	人 221,328,486	△ 50.5
個人法	人 37,998,426,258	24.6	人 36,930,722,777	23.8	人 1,067,703,481	2.9
地方消費税	人 1,655,395,738	1.1	人 1,556,945,273	1.0	人 98,450,465	6.3
譲渡貨物税	人 36,343,030,520	23.5	人 35,373,777,504	22.8	人 969,253,016	2.7
不動産取得税	人 31,566,712,526	20.4	人 31,936,935,467	20.6	人 370,222,941	△ 1.2
譲渡貨物税	人 29,079,765,600	18.8	人 29,135,327,066	18.8	人 55,561,466	△ 0.2
不動産取得税	人 2,486,946,926	1.6	人 2,801,608,401	1.8	人 314,661,475	△ 11.2
県たばこ税	人 3,138,335,274	2.0	人 3,044,762,402	2.0	人 93,572,872	3.1
ゴルフ場利用税	人 1,248,381,352	0.8	人 1,247,288,388	0.8	人 1,092,964	0.1
自動車取得税	人 548,258,000	0.4	人 519,407,300	0.3	人 28,850,700	5.6
軽油引取税	人 1,137,903,800	0.7	人 2,231,723,000	1.4	人 1,093,819,200	△ 49.0
自動車税	人 10,108,068,442	6.5	人 10,397,579,848	6.7	人 289,511,406	△ 2.8
自動車税	人 18,199,525,258	11.8	人 17,705,340,735	11.4	人 494,184,523	2.8
環境性能割	人 17,574,080,658	11.4	人 17,705,340,735	11.4	人 131,260,077	△ 0.7
種別割	人 501,877,000	0.3	人 -	-	人 501,877,000	皆増
種別割	人 123,567,600	0.1	人 -	-	人 123,567,600	皆増
鉱区税	人 427,700	0.0	人 490,600	0.0	人 62,900	△ 12.8
狩猟税	人 11,740,500	0.0	人 12,034,200	0.0	人 293,700	△ 2.4
核燃料税	人 770,452,400	0.5	人 770,452,400	0.5	人 0	0.0
計	154,654,440,304	100.0	155,022,856,241	100.0	△ 368,415,937	△ 0.2

備考 令和元年10月1日から自動車取得税が廃止され、自動車税環境性能割が導入された。また、これまでの自動車税は自動車税種別割に名称変更された。

不納欠損額は、119,340,528円で、前年度に比べ 2,215,088円 (1.9%) 増加している。不納欠損額の内容は、次のとおりである。

区分	令和元年度		平成30年度		対前年度比較増減	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
時効完成によるもの	件 5,476	円 74,595,426	件 6,032	円 77,812,876	件 556	円 3,217,450
滞納処分の停止後3年経過によるもの	件 1,440	円 28,878,607	件 1,296	円 16,785,513	件 144	円 12,093,094
滞納処分の停止後直ちに消滅させたもの	件 1,096	円 15,866,495	件 987	円 22,527,051	件 109	円 6,660,556
計	8,012	円 119,340,528	8,315	円 117,125,440	△ 303	円 2,215,088

収入未済額は、2,129,618,612円で、前年度に比べ 140,812,930円（6.2%）減少している。

内訳は、88頁～89頁に記載のとおりである。

このうち、滞納処分等の状況は、次のとおりである。

区分	令和元年度		平成30年度		対前年度比較増減	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
財産差押え	95	円 63,894,848	104	円 70,643,658	△ 9	△ 6,748,810
参加差押え	25	9,951,624	38	13,633,097	△ 13	△ 3,681,473
交付要求	96	3,458,275	73	2,704,042	23	754,233
換価猶予	15	5,751,547	10	4,557,852	5	1,193,695
徴収猶予等	1,894	143,914,257	1,745	158,531,721	149	△ 14,617,464
徴収嘱託	-	-	-	-	-	-
有価証券受領	0	0	2	848,888	2	△ 848,888
分納誓約	458	53,061,884	465	52,563,789	△ 7	498,095
納税確認	85	27,757,849	76	2,632,377	9	25,125,472
滞納処分停止	534	98,021,421	583	113,173,806	△ 49	△ 15,152,385
その他	4,762	226,348,922	4,881	207,747,362	119	18,601,560
計	7,964	632,160,627	7,977	627,036,592	△ 13	5,124,035

- (注) 1 地方税法第41条の規定に基づき市町が賦課徴収する個人県民税を除く。
 2 「その他」欄は、差押え、滞納処分停止等の手続きが必要なもので、現在事務進行中のもの及び調査継続中のものである。

予算現額に対する収入済額の増減は、687,308,304円増で、主なものは、次のとおりである。

項目	目	金額	内容
県民税	個人	円 113,203,532	収入額が見込みを上回ったことによる増
	法人	81,977,142	調定額が見込みを上回ったことによる増
事業税	利子割	6,522,120	"
	個人	55,395,738	"
	法人	323,030,520	"
不動産取得税	不動産取得税	29,458,274	"
県たばこ税	県たばこ税	8,381,352	たばこの売上本数等が見込みを上回ったことによる増
ゴルフ場利用税	ゴルフ場利用税	14,258,000	利用人員が見込みを上回ったことによる増
軽油引取税	軽油引取税	5,925,442	収入額が見込みを上回ったことによる増
自動車税	自動車税	25,072,658	"
	環境性能割	21,877,000	課税台数が見込みを上回ったことによる増

第2款 地方消費税清算金

区分		予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	収入済額の うち還付 未済額	予算現額に 対する収入 済額の増減	予算現額に 対する収入 済額の率	調定額に 対する収入 済額の率
令和元年度		円 43,095,412,000	円 43,095,411,852	円 43,095,411,852	円 0	円 0	円 0	△ 148	% 100.0	% 100.0
平成30年度		45,042,843,000	45,042,843,049	45,042,843,049	0	0	0	49	100.0	100.0
対比 前較 年増 度	金額 率	△ 1,947,431,000	△ 4.3	△ 1,947,431,197	△ 4.3	△ 1,947,431,197	△ 4.3	-	-	-

地方消費税清算金の決算額は、43,095,411,852円で、前年度に比べ 1,947,431,197円 (4.3%) 減少している。

予算現額に対する収入済額の増減は、148円減である。

第3款 地方譲与税

区分		予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	収入済額の うち還付 未済額	予算現額に 対する収入 済額の増減	予算現額に 対する収入 済額の率	調定額に 対する収入 済額の率
令和元年度		円 21,151,420,000	円 21,151,419,739	円 21,151,419,739	円 0	円 0	円 0	△ 261	% 100.0	% 100.0
平成30年度		21,654,756,000	21,654,756,000	21,654,756,000	0	0	0	0	100.0	100.0
対比 前較 年増 度	金額 率	△ 503,336,000	△ 2.3	△ 503,336,261	△ 2.3	△ 503,336,261	△ 2.3	-	-	-

地方譲与税の決算額は、21,151,419,739円で、前年度に比べ 503,336,261円 (2.3%) 減少している。

予算現額に対する収入済額の増減は、261円減である。

第 4 款 地 方 特 例 交 付 金

区 分		予 算 現 額	調 定 額	収 入 济 額	不 納 欠損額	収 入 未 济 額	収入済額の うち還付 未 济 額	予 算 現 額 に 対 す る 収 入 済 額 の 増 減	予 算 現 額 に 対 す る 収 入 済 額 の 率	調 定 額 に 対 す る 収 入 済 額 の 率
令 和 元 年 度		円 1,704,905,000	円 1,704,905,000	円 1,704,905,000	円 0	円 0	円 0	円 0	% 100.0	% 100.0
平成 30 年 度		571,271,000	571,271,000	571,271,000	0	0	0	0	100.0	100.0
対 比 前 較 年 度 増 減	金 額	1,133,634,000	1,133,634,000	1,133,634,000	0	0				
	率	% 198.4	% 198.4	% 198.4	% -	% -				

地方特例交付金の決算額は、1,704,905,000円で、前年度に比べ 1,133,634,000円（198.4%）増加している。

第 5 款 地 方 交 付 税

区 分		予 算 現 額	調 定 額	収 入 济 額	不 納 欠損額	収 入 未 济 額	収入済額の うち還付 未 济 額	予 算 現 額 に 対 す る 収 入 済 額 の 増 減	予 算 現 額 に 対 す る 収 入 済 額 の 率	調 定 額 に 対 す る 収 入 済 額 の 率
令 和 元 年 度		円 122,531,824,000	円 122,531,824,000	円 122,531,824,000	円 0	円 0	円 0	円 0	% 100.0	% 100.0
平成 30 年 度		125,469,490,000	125,469,490,000	125,469,490,000	0	0	0	0	100.0	100.0
対 比 前 較 年 度 増 減	金 額	△ 2,937,666,000	△ 2,937,666,000	△ 2,937,666,000	0	0				
	率	△ % 2.3	△ % 2.3	△ % 2.3	% -	% -				

地方交付税の決算額は、122,531,824,000円で、前年度に比べ 2,937,666,000円（2.3%）減少している。

第6款 交通安全対策特別交付金

区分		予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	収入済額の うち還付 未済額	予算現額に 対する収入 済額の増減	予算現額に 対する収入 済額の率	調定額に 対する収入 済額の率
令和元年度		円 268,940,000	円 268,940,000	円 268,940,000	円 0	円 0	円 0	円 0	% 100.0	% 100.0
平成30年度		287,985,000	287,985,000	287,985,000	0	0	0	0	100.0	100.0
対比 前較 年度 増減	金額	△ 19,045,000	△ 19,045,000	△ 19,045,000	0	0				
	率	△ 6.6	△ 6.6	△ 6.6	% -	% -				

交通安全対策特別交付金の決算額は、268,940,000円で、前年度に比べ 19,045,000円（6.6%）減少している。

第7款 分担金及び負担金

区分		予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	収入済額の うち還付 未済額	予算現額に 対する収入 済額の増減	予算現額に 対する収入 済額の率	調定額に 対する収入 済額の率
令和元年度		円 4,996,674,077	円 3,674,687,574	円 3,672,246,989	円 0	円 2,440,585	円 0	円 △ 1,324,427,088	% 73.5	% 99.9
平成30年度		5,514,717,574	4,087,085,737	4,084,605,385	0	2,480,352	0	△ 1,430,112,189	74.1	99.9
対比 前較 年度 増減	金額	△ 518,043,497	△ 412,398,163	△ 412,358,396	0	△ 39,767				
	率	△ 9.4	△ 10.1	△ 10.1	% -	% △ 1.6				

分担金及び負担金の決算額は、3,672,246,989円で、前年度に比べ 412,358,396円（10.1%）減少している。

収入未済額は、2,440,585円で、前年度に比べ 39,767円（1.6%）減少している。収入未済額の主なものは、次のとおりである。

項	目	節	金額	内 容
負担金	健康福祉費負担金	子育て福祉費負担金	円 2,352,985	児童養護施設の措置費保護者負担金

予算現額に対する収入済額の増減は、1,324,427,088円減で、主なものは、次のとおりである。

項	目	金額	内 容
分担金	農林水産業費分担金	円 △ 10,331,935	用排水施設整備事業繰越による減等
負担金	企画振興費負担金	△ 23,376,716	北陸新幹線建設事業繰越による市負担金収入の減
	農林水産業費負担金	△ 545,548,898	県営は場整備事業繰越等による市町負担金収入の減等
	土木費負担金	△ 745,098,121	街路事業繰越等による市町負担金収入の減等

第8款 使用料及び手数料

区分		予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	収入済額のうち還付 未済額	予算現額に対する収入 済額の増減	予算現額に對する収入 済額の率	調定額に對する収入 済額の率
令和元年度		円 7,795,954,000	円 7,717,851,614	円 7,709,469,494	円 0	円 8,382,120	円 0	円 △ 86,484,506	% 98.9	% 99.9
平成30年度		7,798,997,000	7,830,015,021	7,822,614,521	0	7,400,500	0	23,617,521	100.3	99.9
対比 前較 年増 度減	金額	△ 3,043,000	△ 112,163,407	△ 113,145,027	0	981,620				
	率	△ 0.0	△ 1.4	△ 1.4	% -	% 13.3				

使用料及び手数料の決算額は、7,709,469,494円で、前年度に比べ 113,145,027円 (1.4%) 減少している。

収入未済額は、8,382,120円で、前年度に比べ 981,620円 (13.3%) 増加している。収入未済額の主なものは、次のとおりである。

項	目	節	金額	内 容
使 用 料	土木使用料	建築住宅使用料	円 8,380,500	県営住宅使用料及び駐車場使用料

予算現額に対する収入済額の増減は、86,484,506円減で、主なものは、次のとおりである。

項	目	金額	内 容
使 用 料	健康福祉使用料	円 △ 6,098,660	青少年総合センター利用者の減
	商工労働使用料	△ 38,333,809	産業展示館使用料の減
	土木使用料	△ 21,954,728	兼六園入園料等の減
手 数 料	商工労働手数料	△ 3,276,636	工業試験場依頼試験実績の減
	観光手数料	△ 3,096,300	旅行申請件数の実績減
	土木手数料	7,276,562	建設業許可申請数等の増
	警察手数料	△ 14,377,010	自動車運転免許試験者の減等

第9款 国 庫 支 出 金

区 分	予 算 現 額	調 定 額	収 入 濟 額	不 納	収 入	収入済額の うち還付	予 算 現 額 に 対 す る 収 入	予 算 現 額 に 対 す る 収 入	予 算 現 額 に 対 す る 収 入
				欠損額	未済額	未 済 額	済 額 の 増 減	済 額 の 率	
令 和 元 年 度	円 84,906,898,372	円 61,544,210,188	円 61,544,210,188	円 0	円 0	円 0	円 △ 23,362,688,184	% 72.5	% 100.0
平成 30 年 度	78,282,562,001	59,222,948,789	59,222,948,789	0	0	0	△ 19,059,613,212	75.7	100.0
対 比 前 年 度 増 減	金 額 6,624,336,371	% 8.5	金 額 2,321,261,399	% 3.9	% 3.9	% -			

国庫支出金の決算額は、61,544,210,188円で、前年度に比べ 2,321,261,399円（3.9%）増加している。

予算現額に対する収入済額の増減は、23,362,688,184円減で、主なものは、次のとおりである。

項	目	金 額	内 容
国 庫 負 担 金	健康福祉費国庫負担金	円 △ 105,095,566	感染症予防事業費の減等
	農林水産業費国庫負担金	△ 9,250,000	地籍調査事業繰越による減
	土木費国庫負担金	△ 7,306,903,329	広域河川改修事業繰越による減等
	教育費国庫負担金	△ 4,169,496	3月一斉臨時休校に伴う補助対象経費の減等
	災害復旧費国庫負担金	△ 126,931,000	土木災害復旧事業繰越による減等
国 庫 补 助 金	総務費国庫補助金	△ 4,566,955	原子力緊急時安全対策事業等補助事業の実績減等
	企画振興費国庫補助金	△ 7,653,963	電源立地地域対策費交付額確定による減等
	県民文化スポーツ費 国 庫 补 助 金	△ 362,427,271	新県立図書館整備推進事業繰越による減等
	健康福祉費国庫補助金	△ 549,431,743	障害者支援施設等整備費補助金の国庫内示の減等
	生活環境費国庫補助金	△ 36,160,678	生活基盤施設耐震化等事業繰越による減等
	商工労働費国庫補助金	△ 49,518,467	食品産業の輸出向けH A C C P 等対応施設整備事業繰越による減等
	観光費国庫補助金	△ 179,261,425	いしかわ動物園ふれあい体験施設整備事業繰越による減等
	農林水産業費国庫補助金	△ 5,537,666,595	県営ほ場整備事業繰越による減等
	土木費国庫補助金	△ 8,159,946,495	地方道改築事業繰越による減等
	教育費国庫補助金	△ 336,684,133	高等学校校内高速通信ネットワーク整備事業繰越による減等
国 庫 委 託 金	災害復旧費国庫補助金	△ 577,238,033	林道災害復旧事業繰越による減等
	県民文化スポーツ費 国 庫 委 託 金	7,136,000	全国家計構造調査等に係る過収入等
	商工労働費国庫委託金	△ 13,662,716	離職者等再就職訓練事業費の実績減等

第 1 0 款 財 产 収 入

区 分		予 算 現 額	調 定 額	収 入 济 額	不 納	収 入	収 入 济 額 の うち 還 付	予 算 現 額 に 対 す る 収 入	予 算 現 額 に 対 す る 収 入	調 定 額 に 対 す る 収 入
		円	円	円	欠 損 額	未 済 額	未 済 額	円	%	%
令 和 元 年 度		602, 356, 000	666, 145, 838	666, 145, 838	円 0	円 0	円 0	63, 789, 838	110.6	100.0
平 成 3 0 年 度		792, 962, 000	805, 650, 639	805, 650, 639	0	0	0	12, 688, 639	101.6	100.0
対 比 前 較 年 度 増 減 率	金 額	△ 190, 606, 000	△ 139, 504, 801	△ 139, 504, 801	0	0				
	率	△ 24.0	△ 17.3	△ 17.3	% -	% -				

財産収入の決算額は、666, 145, 838円で、前年度に比べ 139, 504, 801円（17.3%）減少している。

予算現額に対する収入済額の増減は、63, 789, 838円増で、主なものは、次のとおりである。

項	目	金 額	内 容
財 产 運 用 収 入	財 产 貸 付 収 入	円 3, 825, 128	自動販売機設置に係る貸付収入の増等
財 产 売 払 収 入	公 有 財 产 売 払 収 入	円 57, 593, 739	白帆台宅地売り払い件数の増等

第 1 1 款 寄 附 金

区 分		予 算 現 額	調 定 額	収 入 济 額	不 納	収 入	収 入 济 額 の うち 還 付	予 算 現 額 に 対 す る 収 入	予 算 現 額 に 対 す る 収 入	調 定 額 に 対 す る 収 入
		円	円	円	欠 損 額	未 済 額	未 済 額	円	%	%
令 和 元 年 度		35, 338, 000	37, 036, 286	37, 036, 286	円 0	円 0	円 0	1, 698, 286	104.8	100.0
平 成 3 0 年 度		155, 510, 000	157, 119, 425	157, 119, 425	0	0	0	1, 609, 425	101.0	100.0
対 比 前 較 年 度 増 減 率	金 額	△ 120, 172, 000	△ 120, 083, 139	△ 120, 083, 139	0	0				
	率	△ 77.3	△ 76.4	△ 76.4	% -	% -				

寄附金の決算額は、37, 036, 286円で、前年度に比べ 120, 083, 139円（76.4%）減少している。

予算現額に対する収入済額の増減は、1, 698, 286円増である。

第12款 繼入金

区分	予算現額	調定額	収入済額	不納	収入	収入済額のうち還付	予算現額に対する収入	予算現額に対する収入	調定額に対する収入
				欠損額	未済額	未済額	済額の増減	済額の率	済額の率
令和元年度	円 4,285,861,000	円 4,261,095,460	円 4,261,095,460	円 0	円 0	円 0	円 △ 24,765,540	% 99.4	% 100.0
平成30年度	7,902,065,000	7,876,467,218	7,876,467,218	0	0	0	△ 25,597,782	99.7	100.0
対比前較年増度	金額 △ 3,616,204,000	△ 3,615,371,758	△ 3,615,371,758	0	0				
	率 △ 45.8	% △ 45.9	% △ 45.9	% -	% -				

繰入金の決算額は、4,261,095,460円で、前年度に比べ3,615,371,758円(45.9%)減少している。

予算現額に対する収入済額の増減は、24,765,540円減で、主なものは、次のとおりである。

項目	目	金額	内容
基金繰入金	災害救助基金繰入金	円 △ 5,562,000	災害救助法適用災害がなかったことによる減
	いしかわ人材確保・定住推進基金繰入金	△ 2,516,017	基金充当事業の実績減
	地域医療介護総合確保基金繰入金	△ 11,118,612	基金繰入事業の実績減
	いしかわ森林環境基金繰入金	△ 3,079,314	いしかわの森で作る住宅推進事業等の実績減

第 1 3 款 繰 越 金

区 分		予 算 現 額	調 定 額	収 入 济 額	不 納 欠 損 額	収 入	収入済額の うち還付	予算現額に 対する収入	予算現額に 対する収入	調定額に 対する収 入
		円	円	円	円	円	円	円	%	%
令 和 元 年 度		11,760,915,893	11,760,915,977	11,760,915,977	0	0	0	84	100.0	100.0
平成 30 年度		7,359,824,289	7,359,824,916	7,359,824,916	0	0	0	627	100.0	100.0
対 比 前 較 年 度 増 減	金 額	4,401,091,604	4,401,091,061	4,401,091,061	0	0				
	率	%	%	%	%	%				
		59.8	59.8	59.8	-	-				

繰越金の決算額は、11,760,915,977円で、前年度に比べ 4,401,091,061円（59.8%）増加している。

予算現額に対する収入済額の増減は、84円増である。

第 1 4 款 諸 収 入

区分	予算現額	調定額	収入済額	不	納	収	入	収入済額のうち還付	予算現額に対する収入	予算現額に對する収入	調定額に對する収入
				欠損額	未済額	未済額	未済額	対する増減	現額の率	現額の率	調定額の率
令和元年度	円 60,560,813,200	円 60,175,146,341	円 59,746,548,514	円 135,755,143	円 292,870,648	円 27,964△	円 814,264,686	円 %	98.7	円 %	99.3
平成30年度	52,337,306,508	50,097,679,964	49,628,494,035	38,036,129	431,186,265	36,465△	2,708,812,473	円 94.8	99.1		
対比前年比較増減度	金額 8,223,506,692	10,077,466,377	10,118,054,479	97,719,014△	138,315,617						
	率 15.7	% 20.1	% 20.4	% 256.9△	% 32.1						

諸収入の決算額は、59,746,548,514円で、前年度に比べ 10,118,054,479円（20.4%）増加している。

不納欠損額は、135,755,143円で、前年度に比べ 97,719,014円（256.9%）増加している。不納欠損額の内容は、次のとおりである。

区分	令和元年度		平成30年度		対前年度比較増減	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
時効完成によるもの	件 92	円 6,194,646	件 99	円 27,068,016△	件 7△	円 20,873,370
滞納処分の停止後3年経過によるもの	47	3,113,570	23	269,353	24	2,844,217
滞納処分の停止後直ちに消滅させたもの	35	480,917	4	28,400	31	452,517
上記以外のもの	327	125,966,010	267	10,670,360	60	115,295,650
計	501	135,755,143	393	38,036,129	108	97,719,014

収入未済額は、292,870,648円で、前年度に比べ 138,315,617円（32.1%）減少している。収入未済額の主なものは、次のとおりである。

項目	目	節	金額	内 容
延滞金、加算金及び過料等	延滞金	納税延滞金	円 95,131,867	県税に係るもの
	加算金	納税加算金	22,866,975	"
雜 入	過年度収入	分担金及び金	2,213,404	平成30年度児童養護施設の措置費保護者負担金等
		使 用 料 及 び 料	2,897,100	平成30年度県営住宅使用料及び駐車場使用料
		諸 収 入	165,872,844	平成29年度以前県営住宅使用料及び駐車場使用料等
	雜 入	雜 入	2,391,408	令和元年度生活保護費返還金等

予算現額に対する収入済額の増減は、814,264,686円減で、主なものは、次のとおりである。

項	目	金額	内 容
延滞金、加算金及び過料等	延滞金 △ 加算金	円 8,194,630 20,027,148	収入額が見込みを上回ったことによる増 〃
貸付元利収入	中小企業設備導入支援事業資金貸付金 △ 元利収入	81,264,335	貸付申込の実績減
受託事業収入	国立工芸館移転整備受託事業収入 △ 道路受託事業収入 △ 河川海岸受託事業収入 △	10,725,652 969,289,994 189,650,000	国立工芸館移転整備費繰越による減 県水送水管耐震化事業繰越等による減 河川改良受託事業繰越による減
収益事業収入	宝くじ収入 △ 弁償金 △ 雜 入	16,871,728 2,007,100 386,625,214	宝くじ収入の実績増 留置人の減 雇用拡大関連企業立地促進補助金及び創造的産業等立地促進補助金の返還等

第15款 県 債

区分	予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	収入済額の うち還付 未済額	予算現額に 対する収入 済額の増減	予算現額に 対する収入 済額の率	調定額に 対する収入 済額の率
令和元年度	円 93,923,000,000	円 76,403,000,000	円 76,403,000,000	円 0	円 0	円 0	円 △ 17,520,000,000	% 81.3	% 100.0
平成30年度	90,781,000,000	79,287,000,000	79,287,000,000	0	0	0	△ 11,494,000,000	87.3	100.0
対比 前 増 度 年 度	金額 率	3,142,000,000 △ 3.5	△ 2,884,000,000 △ 3.6	△ 2,884,000,000 △ 3.6	0 %	0 -			

県債の決算額は、76,403,000,000円で、前年度に比べ 2,884,000,000円（3.6%）減少している。

予算現額に対する収入済額の増減は、17,520,000,000円減で、内容は、次のとおりである。

項	目	金額	内 容
県 債	生活環境債 △ 観光債 △ 農林水産業債 △ 土木債 △ 教育債 △ 災害復旧債 △ 諸債	円 23,000,000 98,000,000 1,802,000,000 13,410,000,000 397,000,000 173,000,000 1,617,000,000	自然公園施設費繰越による減 いしかわ動物園整備費繰越による減 県営ほ場整備事業費繰越による減等 地方道改築費繰越による減等 高等学校整備費繰越による減等 林道災害復旧事業費繰越による減等 北陸新幹線建設費繰越による減等
	計	△ 17,520,000,000	

(2) 一般会計歳出決算

一般会計歳出

科 目 (款)	令 和 元					
	予 算 現 額	支 出 濟 額	翌 年 度 繰 越 額		不 用 額	
			繰越明許費	事故繰越し		
	円	円	円	円	円	円
1 議 会 費	1,176,246,000	1,140,441,641	0	0	35,804,359	
2 総 務 費	74,500,459,000	74,382,026,268	25,027,000	0	93,405,732	
3 企 画 振 興 費	13,642,945,126	12,094,317,731	1,499,717,964	0	48,909,431	
4 県民文化スポーツ費	6,944,272,000	5,859,049,771	1,051,007,828	0	34,214,401	
5 健 康 福 祉 費	86,607,013,139	84,673,048,526	880,279,118	0	1,053,685,495	
6 生 活 環 境 費	2,579,891,000	2,499,110,872	58,010,000	0	22,770,128	
7 商 工 労 働 費	37,983,580,940	37,719,412,221	116,639,317	0	147,529,402	
8 觀 光 費	3,878,944,000	2,880,201,298	972,000,000	0	26,742,702	
9 農 林 水 産 業 費	48,529,023,978	39,790,336,186	8,480,933,907	43,866,400	213,887,485	
10 土 木 費	114,781,608,645	81,111,902,979	33,532,324,126	0	137,381,540	
11 警 察 費	25,023,660,783	24,918,342,480	0	0	105,318,303	
12 教 育 費	101,101,143,507	99,506,604,952	697,359,800	0	897,178,755	
13 災 害 復 旧 費	3,589,456,233	2,693,556,183	824,803,043	0	71,097,007	
14 公 債 費	91,060,774,000	91,058,873,477	0	0	1,900,523	
15 予 備 費	188,425,191	0	0	0	188,425,191	
計	611,587,443,542	560,327,224,585	48,138,102,103	43,866,400	3,078,250,454	
平成30年度	594,985,224,372	552,164,295,241	39,608,974,542	0	3,211,954,589	
対前年度 比較増減	金 額	16,602,219,170	8,162,929,344	8,529,127,561	43,866,400	△ 133,704,135
	率	%	%	%	%	%
		2.8	1.5	21.5	皆増	△ 4.2

決 算 額 款 別 内 訳

年 度			平 成 3 0 年 度				対前年度比較増減
予算現額に 対する支出 済額の率 (A)	支出済額の 構成比率	支出済額の 対前年度率	支 出 済 額	予算現額に 対する支出 済額の率 (B)	支出済額の 構成比率	支出済額の 対前年度率	(A) - (B)
%	%	%	円	%	%	%	△
97.0	0.2	99.1	1,151,200,638	97.2	0.2	104.8	△ 0.2
99.8	13.3	99.8	74,520,174,926	99.6	13.5	94.6	0.2
88.6	2.2	112.7	10,732,314,188	87.0	1.9	73.3	1.6
84.4	1.0	93.2	6,284,673,986	98.6	1.1	121.1	△ 14.2
97.8	15.1	103.9	81,484,747,406	98.5	14.8	97.4	△ 0.7
96.9	0.4	115.9	2,156,422,252	94.9	0.4	108.2	2.0
99.3	6.7	102.5	36,804,470,310	98.7	6.7	114.7	0.6
74.3	0.5	97.9	2,941,911,135	99.5	0.5	89.9	△ 25.2
82.0	7.1	105.0	37,902,720,385	79.6	6.9	96.8	2.4
70.7	14.5	104.3	77,743,818,735	74.5	14.1	106.8	△ 3.8
99.6	4.4	100.9	24,693,681,257	99.3	4.5	103.2	0.3
98.4	17.8	99.6	99,942,385,270	99.1	18.1	98.6	△ 0.7
75.0	0.5	79.1	3,403,291,378	69.3	0.6	111.9	5.7
100.0	16.3	98.5	92,402,483,375	100.0	16.7	97.3	0.0
0.0	0.0	-	0	0.0	0.0	-	0.0
91.6	100.0	101.5	552,164,295,241	92.8	100.0	99.3	△ 1.2

第1款 議会費

区分	予算現額	支出済額	翌年度繰越額		不 用 額	予算現額に対する支出済額の率
			繰越明許費	事故繰越し		
令和元年度	円 1,176,246,000	円 1,140,441,641	円 0	円 0	円 35,804,359	% 97.0
平成30年度	1,184,083,000	1,151,200,638	0	0	32,882,362	97.2
対比 前較 年増 度減	金額 △ 7,837,000	△ 10,758,997	0	0	2,921,997	/
	率 △ 0.7	% △ 0.9	% -	% -	% 8.9	/

議会費の決算額は、1,140,441,641円で、前年度に比べ10,758,997円(0.9%)減少している。

不用額は、35,804,359円で、前年度に比べ2,921,997円(8.9%)増加している。不用額の主なものは、次のとおりである。

項	目	節	金額	内 容
議会費	議会費	負担金補助及び交付金	円 31,947,175	政務活動交付金等の執行残

第2款 総務費

区分	予算現額	支出済額	翌年度繰越額		不 用 額	予算現額に対する支出済額の率
			繰越明許費	事故繰越し		
令和元年度	円 74,500,459,000	円 74,382,026,268	円 25,027,000	円 0	円 93,405,732	% 99.8
平成30年度	74,796,478,332	74,520,174,926	136,200,000	0	140,103,406	99.6
対比 前較 年増 度減	金額 △ 296,019,332	△ 138,148,658	△ 111,173,000	0	△ 46,697,674	
	率 △ 0.4	% △ 0.2	% △ 81.6	% -	% △ 33.3	

総務費の決算額は、74,382,026,268円で、前年度に比べ 138,148,658円 (0.2%) 減少している。

翌年度繰越額は、25,027,000円で、前年度に比べ 111,173,000円(81.6%) 減少している。翌年度繰越額の内容は、次のとおりである。

項	目	事業名	翌年度繰越額		主な繰越理由
			繰越明許費	事故繰越し	
防災救助費	防災総務費	航空消防防災体制整備費	円 25,027,000	円 0	資機材の調達に不測の日数を要したため

不用額は、93,405,732円で、前年度に比べ 46,697,674円 (33.3%) 減少している。不用額の主なものは、次のとおりである。

項	目	節	金額	内 容
総務管理費	一般管理費	賃 金	円 3,487,384	臨時職員数の実績減
		旅 費	1,275,647	普通旅費等の実績減
		負担金補助及び交付金	5,963,559	石川県公立大学法人整備費補助金の実績減
	人事管理費	旅 費	1,222,345	普通旅費等の実績減
		需 用 費	2,256,703	光熱水費等の実績減
		工 事 請 負 費	2,143,134	工事請負費の実績減
市町村振興費	市町支 援 総 務 費	"	4,243,800	"
防災救助費	防災総務費	報 償 費	1,249,907	委員謝金等の実績減
		需 用 費	2,282,487	燃料費等の実績減
		役 務 費	3,630,539	通信費等の実績減
		工 事 請 負 費	24,675,720	工事請負費の実績減
	救 助 費	負担金補助及び交付金	5,000,594	災害救助費市町交付金の実績減

第3款 企画振興費

区分	予算現額	支出済額	翌年度繰越額		不 用 額	予算現額に対する支出済額の率
			繰越明許費	事故繰越し		
令和元年度	円 13,642,945,126	円 12,094,317,731	円 1,499,717,964	円 0	円 48,909,431	% 88.6
平成30年度	12,331,631,560	10,732,314,188	1,556,595,126	0	42,722,246	87.0
対比 前較 年増 度減	金額 1,311,313,566	1,362,003,543	△ 56,877,162	0	6,187,185	
	率 10.6	% 12.7	△ 3.7	% -	% 14.5	

企画振興費の決算額は、12,094,317,731円で、前年度に比べ 1,362,003,543円 (12.7%) 増加している。

翌年度繰越額は、1,499,717,964円で、前年度に比べ 56,877,162円 (3.7%) 減少している。翌年度繰越額の内容は、次のとおりである。

項	目	事業名	翌年度繰越額		主な繰越理由
			繰越明許費	事故繰越し	
企画振興費	企画振興費 総務費	国立工芸館 移転整備費	円 37,622,300	円 0	作品の展示方法について、作家との協議に不測の日数を要したことに伴い、関連工事の実施に遅れが生じたため
	交通対策費	北陸新幹線建設費	1,107,095,664	0	事業主体である鉄道建設・運輸施設整備支援機構において、工事に係る関係機関との調整に不測の日数を要したため
		鉄道軌道安全輸送設備等整備事業費	55,000,000	0	事業主体である北陸鉄道㈱において、車両更新に伴う安全対策に不測の日数を要したため
		小松空港活性化促進費	128,000,000	0	新型コロナウイルス感染症緊急対策による
		のと里山空港活性化促進費	172,000,000	0	"
計			1,499,717,964	0	

不用額は、48,909,431円で、前年度に比べ 6,187,185円 (14.5%) 増加している。不用額の主なものは、次のとおりである。

項	目	節	金額	内 容
企画振興費	企画振興費 総務費	職員手当等	円 1,967,063	時間外勤務手当等の実績減
	地域振興費	負担金補助及び交付金	7,863,542	電源立地地域対策費等の交付額の確定による減
	交通対策費	委託料	2,383,449	のと里山空港除雪委託料等の実績減
		負担金補助及び交付金	28,941,241	のと里山空港需要拡大等強化事業費補助金等の実績減

第4款 県民文化スポーツ費

区分	予算現額	支出済額	翌年度繰越額		不 用 額	予算現額に対する支出済額の率
			繰越明許費	事故繰越し		
令和元年度	円 6,944,272,000	円 5,859,049,771	円 1,051,007,828	円 0	円 34,214,401	% 84.4
平成30年度	6,374,903,751	6,284,673,986	58,489,000	0	31,740,765	98.6
対比 前較 年増 度減	金額	569,368,249△	425,624,215	992,518,828	0	2,473,636
	率	% 8.9△	% 6.8	% 1,696.9	% —	% 7.8

県民文化スポーツ費の決算額は、5,859,049,771円で、前年度に比べ 425,624,215円 (6.8%) 減少している。

翌年度繰越額は、1,051,007,828円で、前年度に比べ 992,518,828円 (1,696.9%) 増加している。翌年度繰越額の内容は、次のとおりである。

項	目	事業名	翌年度繰越額		主な繰越理由
			繰越明許費	事故繰越し	
文化スポーツ費	文化振興費	新県立図書館整備推進費	円 1,024,594,828	円 0	工事工程（資材調達）に変更が生じたため
	スポーツ振興費	スポーツ施設整備費	26,413,000	0	関係機関との調整に不測の日数を要したため
計			1,051,007,828	0	

不用額は、34,214,401円で、前年度に比べ 2,473,636円 (7.8%) 増加している。不用額の主なものは、次のとおりである。

項	目	節	金額	内 容
県民費	県民総務費	職員手当等	円 1,275,104	時間外勤務手当等の実績減
文化スポーツ費	文化振興費	委託料	3,553,932	文化資源を活用した体験型観光プログラム検討調査委託料等の実績減
		負担金補助及び交付金	2,500,406	各種文化事業開催費補助金等の実績減
	スポーツ振興費	委託料	2,345,795	設計等委託料等の実績減
		負担金補助及び交付金	4,383,534	国民体育大会派遣費補助金等の実績減

第5款 健 康 福祉費

区分	予算現額	支出済額	翌年度繰越額		不 用 額	予算現額に対する支出済額の率
			繰越明許費	事故繰越し		
令和元年度	円 86,607,013,139	円 84,673,048,526	円 880,279,118	円 0	円 1,053,685,495	% 97.8
平成30年度	82,715,323,800	81,484,747,406	562,327,000	0	668,249,394	98.5
対比 前較 年増 度減	金額	3,891,689,339	3,188,301,120	317,952,118	0	385,436,101
	率	% 4.7	% 3.9	% 56.5	% -	% 57.7

健康福祉費の決算額は、84,673,048,526円で、前年度に比べ3,188,301,120円（3.9%）増加している。

翌年度繰越額は、880,279,118円で、前年度に比べ317,952,118円（56.5%）増加している。翌年度繰越額の内容は、次のとおりである。

項	目	事業名	翌年度繰越額		主な繰越理由
			繰越明許費	事故繰越し	
高齢者福祉費	要介護高齢者対策費	介護サービス基盤整備事業費	円 263,974,000	円 0	関係機関との協議・許認可等に不測の日数を要したため
障害福祉費	障害福祉総務費	障害者支援施設等整備費	219,291,000	0	国補正による
健康推進費	難病結核対策費	新型コロナウイルス感染症対策事業費	172,531,118	0	年度内調達が困難であるため
	保健環境センター費	"	90,000,000	0	"
	保健所費	"	5,400,000	0	"
医薬看護費	医務費	緊急時医療施設整備等事業費	9,728,000	0	資機材の調達に不測の日数を要したため
		地域医療連携推進事業費	119,355,000	0	関係事業との調整に不測の日数を要したため
計			880,279,118	0	

不用額は、1,053,685,495円で、前年度に比べ385,436,101円（57.7%）増加している。不用額の主なものは、次のとおりである。

項	目	節	金額	内 容
高齢者福祉費	要介護高齢者対策費	委託料	円 1,202,035	施設老人保健事業委託料等の実績減
		負担金補助及び交付金	3,956,604	軽費老人ホーム運営費補助金等の実績減
子育て福祉費	高齢者保健費	"	1,533,283	後期高齢者健康診査事業費補助金等の実績減
子育て福祉費	子育て総務費	委託料	1,610,044	一般事業主行動計画策定支援事業費委託料の実績減
		負担金補助及び交付金	1,697,862	各市町結婚支援事業補助金の実績減
	児童福祉費	旅 費	1,584,690	会議等特別旅費の減
		負担金補助及び交付金	140,989,678	施設型給付費負担金の実績減
		扶助費	7,257,374	児童養護施設等措置費の実績減
	母子福祉費	負担金補助及び交付金	5,490,132	ひとり親家庭医療費補助金の実績減
青少年対策費	青少年対策費	委託料	2,104,326	青少年総合研修センター指定管理委託料の実績減

項	目	節	金額	内 容
障害福祉費	障害福祉総務費	委託料	2,721,350 円	障害者温泉療養事業委託料等の実績減
		負担金補助及び交付金	451,905,856	障害者支援施設等整備費補助金等の実績減
	身体障害者福祉費	"	51,400,413	心身障害者医療費補助金等の実績減
	心身障害児福 祉費	報償費	1,497,850	相談職員謝金等の実績減
		負担金補助及び交付金	45,518,785	心身障害児保護措置費負担金等の実績減
	精神障害者福 祉費	扶助費	1,674,067	心身障害児保護措置費等の実績減
		報酬	1,400,305	精神科医師報酬等の実績減
		扶助費	56,600,795	精神障害者医療費等の実績減
地域福祉費	地域福祉推進費	旅費	1,044,302	特別旅費等の実績減
		委託料	3,726,050	介護・福祉人材確保総合対策事業委託料等の実績減
		負担金補助及び交付金	3,649,471	自立支援型住宅リフォーム推進事業費補助金等の実績減
健康推進費	生活保護費	扶助費	17,279,023	生活保護費の実績減
	健康推進総務費	報償費	1,310,614	相談職員謝金等の実績減
	難病結核費	旅費	1,239,611	特別旅費等の実績減
	対策	委託料	3,996,357	肝炎ウイルス検査委託料等の実績減
		負担金補助及び交付金	34,383,776	病床確保費補助金等の実績減
		扶助費	90,034,859	新型コロナウイルス感染症医療費等の実績減
	母子保健費	負担金補助及び交付金	12,830,845	乳幼児医療費補助金の実績減
		扶助費	34,542,504	不妊治療費申請件数の実績減
	健康づくり推進費	負担金補助及び交付金	2,776,000	健康増進事業費補助金等の実績減
医薬看護費	医務費	報償費	1,363,666	医療計画推進費等の実績減
		旅費	1,271,804	特別旅費等の実績減
		委託料	1,384,405	緊急時医療措置研修事業費等の実績減
		負担金補助及び交付金	7,374,000	高度・専門医療人材養成支援事業費等の実績減

第6款 生 活 環 境 費

区分	予算現額	支出済額	翌年度繰越額		不 用 額	予算現額に対する支出済額の率
			繰越明許費	事故繰越し		
令和元年度	円 2,579,891,000	円 2,499,110,872	円 58,010,000	円 0	円 22,770,128	% 96.9
平成30年度	2,272,711,282	2,156,422,252	95,546,000	0	20,743,030	94.9
対比 前較 年増 度減	金額 307,179,718	342,688,620	△ 37,536,000	0	2,027,098	
	率 13.5	% 15.9	% △ 39.3	% -	% 9.8	

生活環境費の決算額は、2,499,110,872円で、前年度に比べ342,688,620円(15.9%)増加している。

翌年度繰越額は、58,010,000円で、前年度に比べ37,536,000円(39.3%)減少している。翌年度繰越額の内容は、次のとおりである。

項	目	事業名	翌年度繰越額		主な繰越理由
			繰越明許費	事故繰越し	
生活環境費	環境管理企画費	生活基盤施設耐震化等事業費	円 31,500,000	円 0	解体工事に不測の日数を要したため
		自然公園施設費	26,510,000	0	入札不調により工期を見直したため
計			58,010,000	0	

不用額は、22,770,128円で、前年度に比べ2,027,098円(9.8%)増加している。不用額の主なものは、次のとおりである。

項	目	節	金額	内 容
生活環境費	廃棄物指導費	委託料	円 2,131,202	海岸漂着物地域対策推進事業委託料等の実績減
		負担金補助及び交付金	1,364,220	海岸漂着物地域対策推進事業補助金等の実績減
自然環境費	旅費		1,291,705	普通旅費等の実績減

第7款 商工労働費

区分	予算現額	支出済額	翌年度繰越額		不 用 額	予算現額に対する支出済額の率
			繰越明許費	事故繰越し		
令和元年度	円 37,983,580,940	円 37,719,412,221	円 116,639,317	円 0	円 147,529,402	% 99.3
平成30年度	37,271,577,875	36,804,470,310	0	0	467,107,565	98.7
対比 前較 年増 度減	金額	712,003,065	914,941,911	116,639,317	0	△ 319,578,163
	率	% 1.9	% 2.5	% 皆増	% -	△ 68.4

商工労働費の決算額は、37,719,412,221円で、前年度に比べ 914,941,911円（2.5%）増加している。

翌年度繰越額は、116,639,317円で、前年度に比べ皆増となっている。翌年度繰越額の内容は、次のとおりである。

項	目	事業名	翌年度繰越額		主な繰越理由
			繰越明許費	事故繰越し	
商 工 費	商工振興費	食 品 産 業 等 振 興 対 策 費	円 32,269,000	円 0	国補正による
	貿易振興費	港 湾 振 興 対 策 費	31,000,000	0	新型コロナウイルス感染症緊急対策による
	中小企業 振 興 費	經 営 安 定 支 援 融 資 資 金 費	16,000,000	0	"
		信 用 保 証 料 費 輕 減 対 策 費	20,000,000	0	"
	中小企 業 指 導 費	地 場 産 業 経 営 安 定 ・ 基 盤 強 化 総 合 支 援 事 業 費	10,000,000	0	"
	勞 働 費	雇 用 対 策 費 總 程 務 費	7,370,317	0	緊急対策補正のため
計			116,639,317	0	

不用額は、147,529,402円で、前年度に比べ 319,578,163円（68.4%）減少している。不用額の主なものは、次のとおりである。

項	目	節	金額	内 容
商 工 費	商工振興費	旅 費	円 2,273,037	普通旅費等の実績減
		委 託 料	1,485,824	非製造部門事務作業効率化促進事業委託料等の実績減
		負担金補助及び交付金	4,244,887	本社機能立地促進補助金等の実績減
	貿易振興費	旅 費	1,121,161	普通旅費の実績減
		負担金補助及び交付金	2,808,874	クルーズ船受入体制整備事業費補助金等の実績減
		委 託 料	6,922,586	大学生の県内就職促進事業委託料等の実績減
	中小企 業 振 興 費	負担金補助及び交付金	2,679,534	県外需要を取り込む中小企業育成支援事業費補助金等の実績減
		貸 付 金	80,140,500	中小企業設備導入支援事業資金貸付金の実績減

項	目	節	金額	内 容
商 工 費	中 小 企 業 指 導 費	負担金補助及び交付金	円 3,362,067	石川版移住起業支援金支給事業費補助金等の実績減
	工 業 試 験 場 費	旅 費	1,200,884	普通旅費等の実績減
労 働 費	職 業 訓 練 總 務 費	委 託 料	22,095,362	離職者等高度人材養成推進事業委託料等の実績減
	雇 用 対 策 總 務 費	報 償 費	1,730,108	障害者等就職支援費等の実績減

第8款 観光費

区分	予算現額	支出済額	翌年度繰越額		不 用 額	予算現額に対する支出済額の率
			繰越明許費	事故繰越し		
令和元年度	円 3,878,944,000	円 2,880,201,298	円 972,000,000	円 0	円 26,742,702	% 74.3
平成30年度	2,955,294,000	2,941,911,135	0	0	13,382,865	99.5
対比 前較 年増 度減	金額 923,650,000	△ 61,709,837	972,000,000	0	13,359,837	
	率 31.3	△ 2.1	% 皆増	% -	% 99.8	

観光費の決算額は、2,880,201,298円で、前年度に比べ 61,709,837円 (2.1%) 減少している。

翌年度繰越額は、972,000,000円で、前年度に比べ皆増となっている。翌年度繰越額の内容は、次のとおりである。

項	目	事業名	翌年度繰越額		主な繰越理由
			繰越明許費	事故繰越し	
観光戦略 推進費	観光振興費	観光交流施設整備運営費	円 196,000,000	円 0	国補正による
		観光企画推進費	213,500,000	0	新型コロナウイルス感染症緊急対策による
		誘客戦略推進費	333,800,000	0	"
	国際観光費	海外誘客情報発信事業費	168,700,000	0	"
		海外誘客受地整備事業費	60,000,000	0	"
		計	972,000,000	0	

不用額は、26,742,702円で、前年度に比べ 13,359,837円 (99.8%) 増加している。不用額の主なものは、次のとおりである。

項	目	節	金額	内 容
観光戦略 推進費	観光振興費	旅 費	円 2,183,919	普通旅費等の実績減
		委託料	1,248,036	石川県金沢観光情報センター運営費等の実績減
		負担金補助及び交付金	15,004,031	コンベンション誘致推進事業費補助金等の実績減
国際観光費	委託料		2,686,040	海外誘客情報発信事業委託料等の実績減

第9款 農林水産業費

区分	予算現額	支出済額	翌年度繰越額		不 用 額	予算現額に 対する支出 済額の率
			繰越明許費	事故繰越し		
令和元年度	円 48,529,023,978	円 39,790,336,186	円 8,480,933,907	円 43,866,400	円 213,887,485	% 82.0
平成30年度	47,610,146,250	37,902,720,385	8,826,922,978	0	880,502,887	79.6
対比 前較 年増 度減	金額	918,877,728	1,887,615,801	△ 345,989,071	43,866,400	△ 666,615,402
	率	% 1.9	% 5.0	△ 3.9	% 皆増	△ 75.7

農林水産業費の決算額は、39,790,336,186円で、前年度に比べ 1,887,615,801円 (5.0%) 増加している。

翌年度繰越額は、繰越明許費が 8,480,933,907円で、前年度に比べ 345,989,071円 (3.9%) 減少し、事故繰越しは、皆増となっている。翌年度繰越額の内容は、次のとおりである。

項	目	事業名	翌年度繰越額		主な繰越理由
			繰越明許費	事故繰越し	
農業費	農業総務費	扱い手農業機械導入支援事業費	円 45,279,000	円 0	国補正による
		鳥獣害防止対策事業費	252,116,000	0	"
	農業振興費	水田営農体制確立事業費	796,609,000	0	資材調達に不測の日数を要したため
畜産業費	畜産振興費	いしかわの里山里海利用・保全事業費	3,600,000	0	国補正による
		環境保全対策事業費	339,960,000	0	設計変更に不測の日数を要したため
	家畜保健衛生費	家畜保健衛生所焼却炉整備事業費	177,000,000	0	国補正による
農地費	農業農村整備事業費	県営ほ場整備事業費	2,455,494,524	0	"
		県営土地改良総合整備事業費	28,612,100	0	資材調達に不測の日数を要したため
		広域営農団地農道整備事業費	392,120,500	43,866,400	法面の調査、設計に不測の日数を要したため
		県営一般農道整備事業費	8,163,100	0	用地の境界確認に不測の日数を要したため
		農村総合整備事業費	194,456,600	0	資材調達に不測の日数を要したため
		県営かんがい排水事業費	110,861,600	0	国補正による
		基幹水利施設予防保全対策事業費	369,915,200	0	資材単価調査に不測の日数を要したため
		扱い手育成畑地帯総合整備事業費	7,366,700	0	地元調整に不測の日数を要したため
		国営造成揚水施設等管理事業費	73,647,000	0	関係機関との調整・協議に不測の日数を要したため
		国営造成施設管理体制整備促進事業費	3,498,800	0	資材単価調査に不測の日数を要したため
農地防災事業費	地籍調査費	地籍調査費	13,875,000	0	国補正による
		農業水路等長寿命化・防災減災事業費	130,000,000	0	"
	老朽ため池整備事業費	155,372,100	0	"	

項	目	事業名	翌年度繰越額		主な繰越理由
			繰越明許費	事故繰越し	
農地費	農地防災事業費	用排水施設整備事業費	円 129,041,000	円 0	国補正による
		地すべり対策事業費	89,886,100	0	既存施設調査に不測の日数を要したため
		農業用施設石綿対策特別事業費	40,418,500	0	他事業との調整に不測の日数を要したため
		海岸保全施設整備事業費	34,411,300	0	地元調整に不測の日数を要したため
		県営震災対策農業施設整備事業費	59,069,000	0	国補正による
		団体営震災対策農業施設整備事業費	8,000,000	0	対策工法の検討に不測の日数を要したため
		農村地域防災減災調査設計事業費	151,269,900	0	地元調整に不測の日数を要したため
		県単農地防災事業費	2,885,000	0	"
		土地改良施設豪雨対策事業費	40,000,000	0	国補正による
		団体営農村地域防災減災総合整備事業費	50,000,000	0	"
林業費	造林費	造林事業費	614,570,146	0	地元調整に不測の日数を要したため
		いしかわ森林環境基金事業費	64,998,355	0	"
		森林整備・林業活性化事業費	359,668,000	0	国補正による
		他産業との連携による林業収益力向上対策事業費	20,000,000	0	"
		林道開設事業費	36,324,000	0	"
治山費		県営林道開設事業費	127,659,460	0	地元調整に不測の日数を要したため
		林道保全事業費	1,800,000	0	国補正による
		林道改良事業費	18,784,000	0	"
		県有林道改良事業費	249,120,000	0	"
		山地治山事業費	385,594,686	0	地元調整に不測の日数を要したため
水産業費	水産業振興費	防災林整備事業費	80,822,700	0	国補正による
		水源地域整備事業費	105,645,536	0	"
		大型魚礁設置事業費	15,766,000	0	関係機関との調整により施工時期の制限を要したため
		広域型増殖場造成事業費	41,432,000	0	"
		漁港修築費	105,136,000	0	"
	漁港建設費	漁港改修費	42,750,000	0	"
		漁港局部改良費	12,468,000	0	"
		漁港機能保全費	30,166,000	0	"
		市町漁港整備事業助成費	5,301,000	0	河川管理者との調整により施工時期の制限を要したため
		計	8,480,933,907	43,866,400	

不用額は、213,887,485円で、前年度に比べ 666,615,402円（75.7%）減少している。不用額の主なものは、次のとおりである。

項	目	節	金額	内 容
農業費	農業総務費	旅 費	1,217,956 円	普通旅費等の実績減
		負担金補助及び交付金	44,200,954	担い手農業機械導入支援事業費補助金等の実績減
		旅 費	1,173,304	普通旅費等の実績減
	農業改良費 普 及 費	負担金補助及び交付金	8,554,611	水田営農体制確立事業費補助金等の実績減
		報 償 費	1,519,356	退職慰労金等の実績減
		旅 費	3,388,591	普通旅費等の実績減
畜産業費	畜産振興費	負担金補助及び交付金	4,931,089	能登牛増頭生産推進事業費補助金等の実績減
		〃	3,649,670	C S F緊急総合対策事業費の実績減
林業費	造 林 費	〃	3,200,777	いしかわの森で作る住宅推進事業等の実績減
	林 道 費	委 託 料	105,690,904	白山白川郷ホワイトロード災害復旧事業等の実績減
	治 山 費	負担金補助及び交付金	1,370,600	県単荒廃地復旧事業費等の実績減
水産業費	水産総合センター費	旅 費	1,091,737	普通旅費等の実績減

第10款 土木費

区分	予算現額	支出済額	翌年度繰越額		不 用 額	予算現額に対する支出済額の率
			繰越明許費	事故繰越し		
令和元年度	円 114,781,608,645	円 81,111,902,979	円 33,532,324,126	円 0	円 137,381,540	% 70.7
平成30年度	104,289,549,489	77,743,818,735	26,298,238,935	0	247,491,819	74.5
対比 前較 年増 度減	金額	10,492,059,156	3,368,084,244	7,234,085,191	0 △ 110,110,279	
	率	% 10.1	% 4.3	% 27.5	% - △ 44.5	

土木費の決算額は、81,111,902,979円で、前年度に比べ3,368,084,244円(4.3%)増加している。

翌年度繰越額は、33,532,324,126円で、前年度に比べ7,234,085,191円(27.5%)増加している。翌年度繰越額の内容は、次のとおりである。

項 目	事 業 名	翌年度繰越額		主な繰越理由
		繰越明許費	事故繰越し	
道橋りょう費	道路建設費	国道改築費	円 2,560,000,000	円 0 施工方法の検討に不測の日数を要したため
		地方道改築費	6,002,809,831	0 用地買収に不測の日数を要したため
		橋りょう補修費	580,398,475	0 関係機関との協議に不測の日数を要したため
		道路災害防除費	890,927,245	0 国補正による
		交通安全施設費	402,721,465	0 //
		雪寒地域道路事業費	318,498,400	0 関係機関との協議に不測の日数を要したため
		舗装補修費	302,110,700	0 国補正による
		道路施設長寿命化対策事業費	2,253,415,625	0 地元調整に不測の日数を要したため
	道路整備費	いしかわ広域交流幹線軸道路整備事業費	540,000,000	0 用地買収に不測の日数を要したため
		観光石川周遊回廊整備事業費	97,000,000	0 工事施工に伴い支障となる電柱移設について、関係機関との調整に不測の日数を要したため
		安全・安心道路整備事業費	53,000,000	0 工事施工時期について、地元との調整に不測の日数を要したため
		県単道路改良費	221,373,140	0 工事に伴う通行規制について、地元との調整に不測の日数を要したため
		県水送水管耐震化事業費	621,300,000	0 関係機関との協議に不測の日数を要したため
		道路受託事業費	347,281,400	0 工事施工に伴い支障となる電柱移設について、関係機関との調整に不測の日数を要したため
		県単道路特別整備費	32,514,500	0 地元調整に不測の日数を要したため
		道路環境改善整備事業費	283,264,078	0 //
		災害に強い道路整備事業費	60,233,632	0 関係機関との協議に不測の日数を要したため
		雪氷対策事業費	42,868,000	0 //
河川海岸費	河川改良費	広域河川改修費	5,962,799,957	0 国補正による
		緊急河川堆積土砂対策費	525,999,336	0 //
		河川環境整備費	6,799,680	0 他事業との調整に不測の日数を要したため

項	目	事業名	翌年度繰越額		主な繰越理由
			繰越明許費	事故繰越し	
河川海岸費	河川改良費	情報基盤緊急整備事業費	円 228,623,684	円 0	国補正による
		都市基盤河川改修費	57,327,000	0	"
		県単河川改良費	13,294,100	0	工事の設計変更に不測の日数を要したため
		河川改良受託事業費	189,650,000	0	隣接する新幹線工事との工事工程の調整に不測の日数を要したため
		堰堤改良費	320,212,188	0	地元調整に不測の日数を要したため
		県単河川防災費	194,956,411	0	関係機関との調整に不測の日数を要したため
		通常砂防事業費	1,712,574,515	0	地元調整に不測の日数を要したため
		地すべり対策事業費	584,294,920	0	国補正による
		急傾斜地崩壊対策事業費	783,440,507	0	"
	砂防地すべり防止施設整備費	県単砂防地すべり対策事業費	40,499,900	0	用地交渉に不測の日数を要したため
		県単急傾斜地崩壊対策事業費	3,300,000	0	関係機関との調整に不測の日数を要したため
		県単土石流対策事業費	158,955,196	0	用地交渉に不測の日数を要したため
		海岸保全費	642,422,880	0	国補正による
		海岸侵食対策費	100,000,000	0	関係機関との調整に不測の日数を要したため
		金沢港夜間景観創出事業費	4,378,000	0	"
		県単港湾改良費	101,273,230	0	"
		金沢港埋立地整備事業費	84,997,700	0	地元調整に不測の日数を要したため
		港湾改良費	427,929,800	0	関係機関との調整に不測の日数を要したため
港湾費	港湾管理費	港湾修繕費	60,000,000	0	"
		港湾環境整備費	144,190,625	0	鋼矢板の製作・加工に不測の日数を要したため
		港湾海岸高潮対策費	61,588,000	0	補修工法検討に不測の日数を要したため
		土地区画整理費	807,529,435	0	仮換地指定協議に不測の日数を要したため
		街路事業費	2,445,305,597	0	用地交渉に不測の日数を要したため
	都市計画費	県単街路事業費	24,710,976	0	支障物件の撤去について、地元との調整に不測の日数を要したため
		兼六園下交差点周辺整備事業費	366,338,740	0	地元調整による施工条件の変更のため
		生活排水対策費	90,900,000	0	国補正による
		生活排水処理対策費	17,000,000	0	関係機関との調整に不測の日数を要したため
		公園整備費	70,000,000	0	国補正による
建築住宅費	建築指導費	白山ろくテーマパーク整備費	13,506,022	0	地元調整に不測の日数を要したため
		金沢城公園整備費	1,017,394,253	0	国補正による
		公園施設安全安心対策費	277,868,950	0	"
		木場潟公園整備費	179,201,655	0	地元調整に不測の日数を要したため
		県単公園事業費	98,985,378	0	"
		市街地再開発事業費	104,359,000	0	他事業との調整に不測の日数を要したため
		計	33,532,324,126	0	

不用額は、137,381,540円で、前年度に比べ 110,110,279円（44.5%）減少している。不用額の主なものは、次のとおりである。

項	目	節	金額	内 容
道橋りょう費	道路建設費	需用費	21,334,010 円	除雪費用の実績減
		委託料	81,444,842	"
河川海岸費	河川海岸費 総務費	需用費	1,399,075	修繕費等の実績減
		委託料	2,560,832	庁舎管理委託料等の実績減
建築住宅費	住宅管理費	償還金利子及び割引料	1,290,900	県営住宅退去者に対する敷金還付の実績減

第11款 警察費

区分	予算現額	支出済額	翌年度繰越額		不 用 額	予算現額に対する支出済額の率
			繰越明許費	事故繰越し		
令和元年度	円 25,023,660,783	円 24,918,342,480	円 0	円 0	円 105,318,303	% 99.6
平成30年度	24,858,898,421	24,693,681,257	61,504,070	0	103,713,094	99.3
対比前較年増減度	金額 164,762,362 率 0.7	224,661,223 % 0.9	△ 61,504,070 % 皆減	0 %	1,605,209 % 1.5	

警察費の決算額は、24,918,342,480円で、前年度に比べ 224,661,223円（0.9%）増加している。

不用額は、105,318,303円で、前年度に比べ 1,605,209円（1.5%）増加している。不用額の主なものは、次のとおりである。

項	目	節	金額	内 容
警察管理費	警察本部費	職員手当等	円 65,856,873	警察職員費の実績減
		報償費	1,329,177	駐在所家族報償費等の実績減
		旅費	2,393,433	赴任旅費等の実績減
	装備費	需用費	2,740,861	需用費の実績減
		委託料	2,450,873	高齢者講習委託料等の実績減
	一般警察活動費	旅費	1,751,791	活動旅費の実績減
		役務費	4,609,495	通信回線料等の実績減
		報償費	2,090,350	活動経費の実績減
	刑事警察費	旅費	2,321,056	活動旅費の実績減
		〃	1,464,680	〃
	交通指導取締費	委託料	2,498,345	自動車保管場所調査委託料等の実績減

第12款 教育費

区分	予算現額	支出済額	翌年度繰越額		不 用 額	予算現額に対する支出済額の率
			繰越明許費	事故繰越し		
令和元年度	円 101,101,143,507	円 99,506,604,952	円 697,359,800	円 0	円 897,178,755	% 98.4
平成30年度	100,823,640,000	99,942,385,270	504,374,200	0	376,880,530	99.1
対比 前較 年増 度減	金額 277,503,507	△ 435,780,318	192,985,600	0	520,298,225	
	率 0.3	△ 0.4	% 38.3	% -	% 138.1	

教育費の決算額は、99,506,604,952円で、前年度に比べ435,780,318円(0.4%)減少している。

翌年度繰越額は、697,359,800円で、前年度に比べ192,985,600円(38.3%)増加している。翌年度繰越額の内容は、次のとおりである。

項	目	事業名	翌年度繰越額		主な繰越理由
			繰越明許費	事故繰越し	
小中学校費	県立中学校管理費	情報設備充実費	円 3,600,000	円 0	国補正による
高等学校費	高等学校整備費	空調設備整備費 校内高速通信ネットワーク整備費	221,334,800 301,770,000	0 0	資材調達に不測の日数を要したため 国補正による
特別支援学校費	特別支援学校管理費	情報設備充実費	7,065,000	0	"
	特別支援学校整備費	校内高速通信ネットワーク整備費	162,210,000	0	"
社会教育費	文化財保護費	史跡名勝天然記念物保存事業費	1,380,000	0	工事機材の調達に不測の日数を要したため
計			697,359,800	0	

不用額は、897,178,755円で、前年度に比べ520,298,225円(138.1%)増加している。不用額の主なものは、次のとおりである。

項	目	節	金額	内 容
教育総務費	事務局管理費	職員手当等	円 22,206,276	職員費の実績減
		負担金補助及び交付金	2,927,458	教育費負担軽減奨学金等の実績減
	学校教育指導費	報酬	15,476,882	非常勤職員報酬の実績減
		報償費	1,974,390	外部講師等謝金の実績減
		旅費	3,362,929	教職員旅費等の実績減
		負担金補助及び交付金	1,127,687	スクール・サポート・スタッフ配置事業費補助金等の実績減
	教員総合研修センター費	旅費	1,408,376	普通旅費等の実績減
		恩給及び退職年金	1,222,185	恩給の給付実績減
	文教管理費	負担金補助及び交付金	2,784,902	私立高等学校等就学支援金等の実績減
		給料	17,530,892	小学校教職員費の実績減
	小中学校費	職員手当等	92,428,433	退職手当等の実績減

項	目	節	金額	内 容
小中学校費	小学校教職員費	共済費	7,317,820	共済組合負担金の実績減
		旅費	4,887,033	教職員旅費の実績減
		給料	11,663,087	中学校教職員費の実績減
		職員手当等	191,820,129	退職手当等の実績減
		共済費	2,763,701	共済組合負担金の実績減
	中学校教職員費	旅費	2,979,815	教職員旅費の実績減
		工事請負費	9,724,000	工事請負費の実績減
		給料	2,799,400	高等学校教職員費の実績減
		職員手当等	83,675,725	退職手当等の実績減
		共済費	2,873,289	共済組合負担金の実績減
高等学校費	全日制高等学校管理費	報酬	1,698,260	非常勤講師報酬の実績減
		委託料	1,101,129	消毒業務委託料の実績減
		需用費	1,314,216	光熱水費の実績減
		工事請負費	253,315,305	国補正額との差異（内示との差）
		給料	2,092,479	特別支援学校教職員費の実績減
	定時制高等学校管理費	職員手当等	26,679,544	退職手当等の実績減
		共済費	2,224,400	共済組合負担金の実績減
		賃金	3,930,142	臨時職員賃金の実績減
		委託料	6,298,919	スクールバス運行管理委託料の実績減
		工事請負費	58,395,870	工事請負費の実績減
特別支援学校費	特別支援学校整備費	扶助費	6,112,331	特別支援教育就学奨励費の実績減
		工事請負費	18,038,900	国補正額との差異（内示との差）
		旅費	1,202,130	特別旅費等の実績減
		負担金補助及び交付金	1,413,544	指定文化財管理費補助金等の実績減

第13款 災害復旧費

区分	予算現額	支出済額	翌年度繰越額		不 用 額	予算現額に対する支出済額の率
			繰越明許費	事故繰越し		
令和元年度	円 3,589,456,233	円 2,693,556,183	円 824,803,043	円 0	円 71,097,007	% 75.0
平成30年度	4,914,170,169	3,403,291,378	1,508,777,233	0	2,101,558	69.3
対比 前較 年増 度減	金額 △ 1,324,713,936	△ 709,735,195	△ 683,974,190	0	68,995,449	
	率 △ 27.0	% △ 20.9	% △ 45.3	% —	% 3,283.1	

災害復旧費の決算額は、2,693,556,183円で、前年度に比べ709,735,195円(20.9%)減少している。

翌年度繰越額は、824,803,043円で、前年度に比べ683,974,190円(45.3%)減少している。翌年度繰越額の内容は、次のとおりである。

項	目	事業名	翌年度繰越額		主な繰越理由
			繰越明許費	事故繰越し	
農林水産業施設災害復旧費	耕地災害復旧事業費	元年発生団体営災害復旧費	円 30,561,943	円 0	資材調達に不測の日数を要したため
		元年発生林道災害復旧費	53,058,000	0	地元調整に不測の日数を要したため
		元年発生県有林道災害復旧費	215,373,000	0	"
	土木施設災害復旧費	白山白川郷ホワイトロード災害復旧費	330,000,000	0	"
土木施設災害復旧費	土木施設災害復旧費	30年発生土木施設災害復旧費	39,658,700	0	仮設道路の調整に不測の日数を要したため
		元年発生土木施設災害復旧費	156,151,400	0	関係機関との調整に不測の日数を要したため
計			824,803,043	0	

不用額は、71,097,007円で、前年度に比べ68,995,449円(3,283.1%)増加している。不用額の主なものは、次のとおりである。

項	目	節	金額	内 容
農林水産業施設災害復旧費	耕地災害復旧事業費	負担金補助及び交付金	円 17,691,090	耕地災害復旧事業費補助金の実績減
	林道災害復旧事業費	"	50,928,000	林道災害復旧事業費等の実績減
土木施設災害復旧費	土木施設災害復旧費	"	1,369,166	国直轄災害復旧費負担金の実績減

第14款 公 債 費

区分	予算現額	支出済額	翌年度 繰越額		不 用 額	予算現額に対する支出済額の率
			繰越明許費	事故繰越し		
令和元年度	円 91,060,774,000	円 91,058,873,477	円 0	円 0	円 1,900,523	% 100.0
平成30年度	92,404,811,000	92,402,483,375	0	0	2,327,625	100.0
対比 前較 年増 度減	金額 △ 1,344,037,000	△ 1,343,609,898	0	0	△ 427,102	
	率 △ % 1.5	△ % 1.5	% -	% -	△ % 18.3	

公債費の決算額は、91,058,873,477円で、前年度に比べ 1,343,609,898円（1.5%）減少している。

不用額は、1,900,523円で、前年度に比べ 427,102円（18.3%）減少している。

第15款 予 備 費

区 分		予 算 額	充 当 額	不 用 額
令 和 元 年 度		円 200,000,000	円 11,574,809	円 188,425,191
平 成 3 0 年 度		200,000,000	17,994,557	182,005,443
対比 前較 年増 度減	金 額	0	△ 6,419,748	6,419,748
	率	% -	△ 35.7	% 3.5

予備費の充当額は、11,574,809円で、前年度に比べ 6,419,748円 (35.7%) 減少している。

充当額の内容は、次のとおりである。

款	項	目	節	金 額	内 容
総務費	防災救助費	防災総務費	報償費	円 3,500,000	令和元年東日本台風に係る災害見舞金
健康福祉費	障害福祉費	障害福祉総務費	補償補填及び賠償金	353,728	県有車両による交通事故に係る損害賠償金
	地域福祉費	生活保護費	"	215,946	"
	健康推進費	保健所費	"	34,465	"
商工労働費	商 工 費	工業試験場費	"	2,509,940	"
土木費	道 橋 り よ う 費	道路総務費	"	41,710	自動車落石衝突事故に係る損害賠償金
警察費	警 察 管理費	警察本部費	"	182,209	警察車両による交通事故に係る損害賠償金
			"	3,762,354	"
			"	946,150	"
教育費	社会教育費	文化財保護費	"	28,307	県有車両による交通事故に係る損害賠償金
計				11,574,809	

(3) 特別会計歳入歳出決算

特別会計歳入

会計名	令和元年			
	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額
証紙	円 4,505,033,000	円 5,520,566,536	円 5,520,566,536	円 0
土地取扱	6,343,000	6,318,360	6,318,360	0
国民健康保険	103,872,795,000	105,995,777,497	105,995,777,497	0
母子父子寡婦福祉資金	122,230,000	288,733,248	160,437,152	129,064
中小企業近代化資金貸付金	471,379,000	3,863,074,550	659,321,117	0
就農支援資金	75,445,000	81,141,315	75,418,164	352,000
林業改善資金	131,000	214,091,687	184,551,839	0
沿岸漁業改善資金	1,090,000	242,378,810	242,378,810	0
公営競馬	19,020,719,000	18,456,507,963	18,455,519,110	0
港湾整備	2,093,824,000	2,033,852,599	2,033,852,599	0
流域下水道	5,171,628,652	3,450,250,423	3,437,712,949	0
育英資金	247,590,000	1,713,347,927	1,651,065,087	0
公債管理	210,298,517,000	210,297,716,349	210,297,716,349	0
計	345,886,724,652	352,163,757,264	348,720,635,569	481,064
平成30年度	309,885,251,433	316,433,987,074	312,998,934,106	35,683
対前年度比較増減	金額	36,001,473,219	35,729,770,190	445,381
	率	% 11.6	% 11.3	% 11.4 1,248.2

※令和元年度の流域下水道特別会計については、令和2年度から地方公営企業法適用の流域下水道事業会計へ移行されたため、令和元年度の収入・支出の整理を行う出納整理期間（令和2年4月1日～5月31日）が設けられず、令和2年3月31日をもって閉鎖されている。

特別会計歳出

会計名	令和元年		
	予算現額	支出済額	翌年度
			繰越明許費
証紙	円 4,505,033,000	円 4,285,066,467	円 0
土地取扱	6,343,000	6,318,360	0
国民健康保険	103,872,795,000	103,082,381,731	0
母子父子寡婦福祉資金	122,230,000	112,866,482	0
中小企業近代化資金貸付金	471,379,000	470,576,198	0
就農支援資金	75,445,000	75,418,164	0
林業改善資金	131,000	128,210	0
沿岸漁業改善資金	1,090,000	1,089,797	0
公営競馬	19,020,719,000	18,354,899,864	0
港湾整備	2,093,824,000	2,028,820,531	65,000,000
流域下水道	5,171,628,652	2,859,806,248	1,722,352,511
育英資金	247,590,000	243,729,245	0
公債管理	210,298,517,000	210,297,716,349	0
計	345,886,724,652	341,818,817,646	1,787,352,511
平成30年度	309,885,251,433	307,538,744,345	1,119,572,652
対前年度比較増減	金額	36,001,473,219	34,280,073,301 667,779,859
	率	% 11.6	% 11.1 59.6

※令和元年度の流域下水道特別会計については、令和2年度から地方公営企業法適用の流域下水道事業会計へ移行されたため、令和元年度の収入・支出の整理を行う出納整理期間（令和2年4月1日～5月31日）が設けられず、令和2年3月31日をもって閉鎖されている。

決算額会計別内訳

年 度					平成30年度			対前年度比較増減
収入未済額	収入済額のうち還付未済額	予算現額に対する収入済額の増減	調定額に対する収入済額の率(A)	収入済額の対前年度比率	収入済額	調定額に対する収入済額の率(B)	収入済額の対前年度比率	(A)-(B)
円 0	円 0	円 1,015,533,536	% 100.0	% 89.0	円 6,201,707,471	% 100.0	% 101.9	△ 0.0
0	0	△ 24,640	100.0	1,879.0	336,256	100.0	52.4	0.0
0	0	2,122,982,497	100.0	102.0	103,964,102,268	100.0	皆増	0.0
128,167,032	0	38,207,152	55.6	108.6	147,768,854	54.4	109.9	1.2
3,203,753,433	0	187,942,117	17.1	78.2	843,648,796	20.8	88.7	△ 3.7
5,371,151	0	△ 26,836	92.9	117.9	63,993,192	91.0	108.0	1.9
29,539,848	0	184,420,839	86.2	103.5	178,361,724	85.7	91.0	0.5
0	0	241,288,810	100.0	104.9	231,149,787	100.0	103.8	0.0
988,853	0	△ 565,199,890	100.0	105.8	17,447,591,599	100.0	107.0	0.0
0	0	△ 59,971,401	100.0	74.2	2,741,553,856	100.0	132.7	0.0
12,537,474	0	△ 1,733,915,703	99.6	126.5	2,717,408,699	100.0	89.1	△ 0.4
62,282,840	0	1,403,475,087	96.4	103.0	1,603,753,151	96.5	101.9	△ 0.1
0	0	△ 800,651	100.0	118.9	176,857,558,453	100.0	109.3	0.0
3,442,640,631	0	2,833,910,917	99.0	111.4	312,998,934,106	98.9	162.7	0.1
3,435,017,285	0	3,113,682,673	98.9	162.7				
7,623,346								
% 0.2								

決算額会計別内訳

年 度				平成30年度			対前年度比較増減
繰越額	不 用 額	予算現額に対する支出済額の率(A)	支出済額の対前年度比率	支 出 済 額	予算現額に対する支出済額の率(B)	(A)-(B)	
事故繰越し							
円 0	円 219,966,533	% 95.1	% 88.0	円 4,870,040,935	% 97.4	△ 2.3	
0	24,640	99.6	1,879.0	336,256	87.6	12.0	
0	790,413,269	99.2	101.1	102,007,260,180	99.1	0.1	
0	9,363,518	92.3	104.1	108,403,359	94.1	△ 1.8	
0	802,802	99.8	78.9	596,673,185	99.7	0.1	
0	26,836	100.0	1,376.6	5,478,701	99.1	0.9	
0	2,790	97.9	62.2	206,197	99.1	△ 1.2	
0	203	100.0	108.4	1,005,774	100.0	0.0	
0	665,819,136	96.5	105.6	17,377,029,068	99.0	△ 2.5	
0	3,469	96.9	74.4	2,725,791,807	91.2	5.7	
0	589,469,893	55.3	105.3	2,716,599,311	75.5	△ 20.2	
0	3,860,755	98.4	89.5	272,361,119	98.7	△ 0.3	
0	800,651	100.0	118.9	176,857,558,453	100.0	0.0	
0	2,280,554,495	98.8	111.1	307,538,744,345	99.2	△ 0.4	
0	1,226,934,436	99.2	162.8				
0	1,053,620,059						
% -		% 85.9					

石川県証紙特別会計

歳入

区分	予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	収入済額のうち 還付未済額	予算現額に 対する収入 済額の増減	予算現額に 対する収入 済額の率	調定額に 対する収入 済額の率
令和元年度	円 4,505,033,000	円 5,520,566,536	円 5,520,566,536	円 0	円 0	円 0	円 1,015,533,536	% 122.5	% 100.0
平成30年度	4,999,292,000	6,201,707,471	6,201,707,471	0	0	0	1,202,415,471	124.1	100.0
対比 前較 年増 度減	金額 △ 494,259,000	△ 681,140,935	△ 681,140,935	0	0				
	率 △ 9.9	% △ 11.0	% △ 11.0	% -	% -				

決算額は、5,520,566,536円で、前年度に比べ 681,140,935円 (11.0%) 減少している。

予算現額に対する収入済額の増減は、1,015,533,536円増で、主なものは、次のとおりである。

款	項	目	節	金額	内 容
証紙収入	証紙収入	県税、使用料及び手数料	県税、使用料及び手数料	円 1,015,533,000	証紙の販売額が見込みを上回ったことによる増

歳出

区分	予算現額	支出済額	翌年度繰越額		不 用 額	予算現額に 対する 支出済額 率の の
			繰越明許費	事故繰越し		
令和元年度	円 4,505,033,000	円 4,285,066,467	円 0	円 0	円 219,966,533	% 95.1
平成30年度	4,999,292,000	4,870,040,935	0	0	129,251,065	97.4
対比 前較 年増 度減	金額 △ 494,259,000	△ 584,974,468	0	0	90,715,468	
	率 △ 9.9	% △ 12.0	% -	% -	% 70.2	

決算額は、4,285,066,467円で、前年度に比べ 584,974,468円 (12.0%) 減少している。

不用額は、219,966,533円で、前年度に比べ 90,715,468円 (70.2%) 増加している。不用額の主なものは、次のとおりである。

款	項	目	節	金額	内 容
証紙管理費	証紙管理費	県税、使用料及び手数料	繰出金	円 219,559,303	証紙使用実績が見込みを下回ったことに伴う一般会計繰出金の減

石川県土地取得特別会計

歳 入

区分	予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	収入済額のうち 還付未済額	予算現額に 対する収入 済額の増減	予算現額に 対する収入 済額の率	調定額に 対する収入 済額の率
令和元年度	円 6,343,000	円 6,318,360	円 6,318,360	円 0	円 0	円 0	△ 24,640	% 99.6	% 100.0
平成30年度	384,000	336,256	336,256	0	0	0	△ 47,744	87.6	100.0
対比 前較 年増 度減	金額 5,959,000	5,982,104	5,982,104	0	0				
率 1,551.8	% 1,779.0	% 1,779.0	% 1,779.0	% -	% -				

決算額は、6,318,360円で、前年度に比べ 5,982,104円 (1,779.0%) 増加している。

予算現額に対する収入済額の増減は、24,640円減である。

歳 出

区分	予算現額	支出済額	翌年度繰越額		不 用 額	予算現額に 対する 支出済額 の率
			繰越明許費	事故繰越し		
令和元年度	円 6,343,000	円 6,318,360	円 0	円 0	円 24,640	% 99.6
平成30年度	384,000	336,256	0	0	47,744	87.6
対比 前較 年増 度減	金額 5,959,000	5,982,104	0	0	△ 23,104	
率 1,551.8	% 1,779.0	% 1,779.0	% -	% -	△ 48.4	

決算額は、6,318,360円で、前年度に比べ 5,982,104円 (1,779.0%) 増加している。

不用額は、24,640円で、前年度に比べ 23,104円 (48.4%) 減少している。

石川県国民健康保険特別会計

歳 入

区分		予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	収入済額のうち 還付未済額	予算現額に 対する収入 済額の増減	予算現額に 対する収入 済額の率	調定額に 対する収入 済額の率
令和元年度		円 103,872,795,000	円 105,995,777,497	円 105,995,777,497	円 0	円 0	円 0	円 2,122,982,497	% 102.0	% 100.0
平成30年度		円 102,892,226,000	円 103,964,102,268	円 103,964,102,268	円 0	円 0	円 0	円 1,071,876,268	% 101.0	% 100.0
対比 前較 年増 度減	金額	980,569,000	2,031,675,229	2,031,675,229	0	0				
	率	% 1.0	% 2.0	% -	% -					

決算額は、105,995,777,497円で、前年度に比べ2,031,675,229円(2.0%)増加している。

予算現額に対する収入済額の増減は、2,122,982,497円増で、主なものは、次のとおりである。

款	項	目	節	金額	内 容
国庫支出金	国庫負担金	療養給付費等 負担金	現 年 度 分	円 1,316,778,263	療養給付費等負担金の増
	国庫補助金	調整交付金	普通調整交付金	円 806,245,000	調整交付金の増

歳 出

区分	予算現額	支出済額	翌年度繰越額		不 用 額	予算現額に 対する 支 出 済 額 率
			繰越明許費	事故繰越し		
令和元年度	円 103,872,795,000	円 103,082,381,731	円 0	円 0	円 790,413,269	% 99.2
平成30年度	円 102,892,226,000	円 102,007,260,180	円 0	円 0	円 884,965,820	% 99.1
対比 前較 年増 度減	金額	980,569,000	1,075,121,551	0	△ 94,552,551	
	率	% 1.0	% 1.1	% -	△ 10.7	

決算額は、103,082,381,731円で、前年度に比べ1,075,121,551円(1.1%)増加している。

不用額は、790,413,269円で、前年度に比べ94,552,551円(10.7%)減少している。不用額の主なものは、次のとおりである。

款	項	目	節	金額	内 容
健康福祉費	国民健康保険費	保健給付費等 交付金	負担金補助及び 交付金	円 790,078,288	保険給付費額等が見込みを下回ったことによる減

石川県母子父子寡婦福祉資金特別会計

歳 入

区分	予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	収入済額のうち 還付未済額	予算現額に 対する収入 済額の増減	予算現額に 対する収入 済額の率	調定額に 対する収入 済額の率
令和元年度	円 122,230,000	円 288,733,248	円 160,437,152	円 129,064	円 128,167,032	円 0	円 38,207,152	% 131.3	% 55.6
平成30年度	115,223,000	271,619,424	147,768,854	35,683	123,814,887	0	32,545,854	128.2	54.4
対比 前較 年増 度減	金額 率	7,007,000 6.1	17,113,824 6.3	12,668,298 8.6	93,381 261.7	4,352,145 3.5			

決算額は、160,437,152円で、前年度に比べ 12,668,298円 (8.6%) 増加している。

不納欠損額は、129,064円で、前年度に比べ 93,381円 (261.7%) 増加している。

収入未済額は、128,167,032円で、前年度に比べ 4,352,145円 (3.5%) 増加している。収入未済額の内容は、次のとおりである。

款	項	目	節	金額	内 容
貸付金元利収入	貸付金元利収入	貸付金元利収入	母子父子寡婦 福祉資金貸付金	円 10,165,143	現年度償還金
諸 収 入	雜 入	過 年 度 収 入	貸付金元利収入	10,350,067	前年度償還金
			諸 収 入	107,651,822	平成29年度以前償還金
		計		128,167,032	

予算現額に対する収入済額の増減は、38,207,152円増で、主なものは、次のとおりである。

款	項	目	節	金額	内 容
貸付金元利収入	貸付金元利収入	貸付金元利収入	母子父子寡婦 福祉資金貸付金	円 38,336,287	貸付金元利収入の増

歳 出

区分	予算現額	支出済額	翌年度繰越額		不 用 額	予算現額 に対する 支出済額 率
			繰越明許費	事故繰越し		
令和元年度	円 122,230,000	円 112,866,482	円 0	円 0	円 9,363,518	% 92.3
平成30年度	115,223,000	108,403,359	0	0	6,819,641	94.1
対比 前較 年増 度減	金額 率	7,007,000 6.1	4,463,123 4.1	0 -	2,543,877 -	% 37.3

決算額は、112,866,482円で、前年度に比べ 4,463,123円 (4.1%) 増加している。

不用額は、9,363,518円で、前年度に比べ 2,543,877円 (37.3%) 増加している。不用額の主なものは、次のとおりである。

款	項	目	節	金額	内 容
健康福祉費	母子父子寡婦 福祉資金費	母子父子寡婦 福祉資金貸付金	貸 付 金	円 9,363,392	貸付申請の減

石川県中小企業近代化資金貸付金特別会計

歳 入

区分	予算現額	調定額	収入済額	不納	収入	収入済額	予算現額に	予算現額に	調定額に
				欠損額	未済額	のうち 還付	に対する収入	に対する収入	に対する収入
令和元年度	円 471,379,000	円 3,863,074,550	円 659,321,117	円 0	円 3,203,753,433	円 0	円 187,942,117	% 139.9	% 17.1
平成30年度	598,491,000	4,059,877,239	843,648,796	0	3,216,228,443	0	245,157,796	141.0	20.8
対比 前較 年増 度減	金額 △ 127,112,000	△ 196,802,689	△ 184,327,679	0	△ 12,475,010				
率	△ 21.2	△ 4.8	△ 21.8	% -	% △ 0.4				

決算額は、659,321,117円で、前年度に比べ 184,327,679円 (21.8%) 減少している。

収入未済額は、3,203,753,433円で、前年度に比べ 12,475,010円 (0.4%) 減少している。収入未済額の内容は、次のとおりである。

款	項	目	節	金額	内 容
諸 収 入	雜 入	雜 入	雜 入	円 16,355,800	違約金
		過 年 度 収 入	諸 収 入	3,187,397,633	過年度償還金
		計		3,203,753,433	

予算現額に対する収入済額の増減は、187,942,117円増で、主なものは、次のとおりである。

款	項	目	節	金額	内 容
貸付金元利収入	貸付金元利収入	貸付金元利収入	小規模企業者等設備導入資金貸付	円 27,985,000	制度廃止後の既貸付分の償還
			小規模企業者等設備貸与資金貸付	114,085,000	"
繰 越 金	繰 越 金	繰 越 金	前 年 度 繰 越 金	36,158,611	貸付金の繰上償還に伴う増
諸 収 入	雜 入	過 年 度 収 入	諸 収 入	9,689,810	過年度分貸付金元利収入の増

歳 出

区分	予算現額	支出済額	翌年 度 繰越額		不 用 額	予算現額に 対する支出 済額の率
			繰越明許費	事故繰越し		
令和元年度	円 471,379,000	円 470,576,198	円 0	円 0	円 802,802	% 99.8
平成30年度	598,491,000	596,673,185	0	0	1,817,815	99.7
対比 前較 年増 度減	金額 △ 127,112,000	△ 126,096,987	0	0	△ 1,015,013	
率	△ 21.2	△ 21.1	% -	% -	△ 55.8	% 55.8

決算額は、470,576,198円で、前年度に比べ 126,096,987円 (21.1%) 減少している。

不用額は、802,802円で、前年度に比べ 1,015,013円 (55.8%) 減少している。

石川県就農支援資金特別会計

歳 入

区分		予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	収入済額の うち還付 未済額	予算現額に 対する収入 済額の増減	予算現額に 対する収入 済額の率	調定額に 対する収入 済額の率
令和元年度		円 75,445,000	円 81,141,315	円 75,418,164	円 352,000	円 5,371,151	円 0	△ 26,836	% 100.0	% 92.9
平成30年度		5,529,000	70,316,343	63,993,192	0	6,323,151	0	58,464,192	1,157.4	91.0
対比 前較 年増 度減	金額	69,916,000	10,824,972	11,424,972	352,000	△ 952,000				
	率	% 1,264.5	% 15.4	% 17.9	% 皆増	△ 15.1				

決算額は、75,418,164円で、前年度に比べ 11,424,972円 (17.9%) 増加している。

不納欠損額は、352,000円で、前年度に比べ皆増となっている。

収入未済額は、5,371,151円で、前年度に比べ 952,000円 (15.1%) 減少している。収入未済額の内容は、次のとおりである。

款	項	目	節	金額	内 容
諸 収 入	雜 入	過 年 度 収 入	諸 収 入	円 5,371,151	過年度償還金

歳 出

区分		予算現額	支出済額	翌年度繰越額		不 用 額	予算現額に 対する 支出済額 の率
				繰越明許費	事故繰越し		
令和元年度		円 75,445,000	円 75,418,164	円 0	円 0	円 26,836	% 100.0
平成30年度		5,529,000	5,478,701	0	0	50,299	99.1
対比 前較 年増 度減	金額	69,916,000	69,939,463	0	0 △	23,463	
	率	% 1,264.5	% 1,276.6	% -	% - △	46.6	

決算額は、75,418,164円で、前年度に比べ 69,939,463円 (1,276.6%) 増加している。

不用額は、26,836円で、前年度に比べ 23,463円 (46.6%) 減少している。

石川県林業改善資金特別会計

歳 入

区分		予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	収入済額のうち 還付未済額	予算現額に 対する収入 済額の増減	予算現額に 対する収入 済額の率	調定額に 対する収入 済額の率
令和元年度		円 131,000	円 214,091,687	円 184,551,839	円 0	円 29,539,848	円 0	円 184,420,839	% 140,879.3	% 86.2
平成30年度		208,000	208,044,674	178,361,724	0	29,682,950	0	178,153,724	85,750.8	85.7
対比 前較 年減 度減	金額△	77,000	6,047,013	6,190,115	0△	143,102				
	率△	37.0	2.9	3.5	% -△	% 0.5				

決算額は、184,551,839円で、前年度に比べ 6,190,115円 (3.5%) 増加している。

収入未済額は、29,539,848円で、前年度に比べ 143,102円 (0.5%) 減少している。収入未済額の内容は、次のとおりである。

款	項	目	節	金額	内 容
諸 収 入	雜 入	過 年 度 収 入	諸 収 入	円 29,539,848	過年度償還金

予算現額に対する収入済額の増減は、184,420,839円増で、主なものは、次のとおりである。

款	項	目	節	金額	内 容
貸付金元利収入	貸付金元利収入	貸付金元利収入	林業改善資金貸付金	円 6,125,000	貸付金元利収入の増
繰 越 金	繰 越 金	繰 越 金	前 年 度 繰 越 金	178,155,527	前年度貸付の減による繰越金の増

歳 出

区分		予算現額	支出済額	翌年度繰越額		不 用 額	予算現額に 対する支出 済額の率
				繰越明許費	事故繰越し		
令和元年度		円 131,000	円 128,210	円 0	円 0	円 2,790	% 97.9
平成30年度		208,000	206,197	0	0	1,803	99.1
対比 前較 年減 度減	金額△	77,000△	77,987	0	0	987	
	率△	% 37.0△	% 37.8	% -	% -		% 54.7

決算額は、128,210円で、前年度に比べ 77,987円 (37.8%) 減少している。

不用額は、2,790円で、前年度に比べ 987円 (54.7%) 増加している。

石川県沿岸漁業改善資金特別会計

歳 入

区分	予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	収入済額のうち 還付未済額	予算現額に 対する収入 済額の増減	予算現額に 対する収入 済額の率	調定額に 対する収入 済額の率
令和元年度	円 1,090,000	円 242,378,810	円 242,378,810	円 0	円 0	円 0	円 241,288,810	% 22,236.6	% 100.0
平成30年度	1,006,000	231,149,787	231,149,787	0	0	0	230,143,787	22,977.1	100.0
対比 前較 年増 度	金額	84,000	11,229,023	11,229,023	0	0			
	率	% 8.3	% 4.9	% 4.9	% -	% -			

決算額は、242,378,810円で、前年度に比べ 11,229,023円 (4.9%) 増加している。

予算現額に対する収入済額の増減は、241,288,810円増で、主なものは、次のとおりである。

款	項	目	節	金額	内 容
貸付金元利収入	貸付金元利収入	貸付金元利収入	経営等改善資金貸付金	円 12,145,000	貸付金元利収入の増
繰越金	繰越金	繰越金	前年度繰越金	229,144,013	前年度貸付の減による繰越金の増

歳 出

区分	予算現額	支出済額	翌年度繰越額		不 用 額	予算現額に 対する支出 済額の率
			繰越明許費	事故繰越し		
令和元年度	円 1,090,000	円 1,089,797	円 0	円 0	円 203	% 100.0
平成30年度	1,006,000	1,005,774	0	0	226	100.0
対比 前較 年増 度	金額	84,000	84,023	0	0△	23
	率	% 8.3	% 8.4	% -	% -△	10.2

決算額は、1,089,797円で、前年度に比べ 84,023円 (8.4%) 増加している。

不用額は、203円で、前年度に比べ 23円 (10.2%) 減少している。

石川県公営競馬特別会計

歳入

区分		予算現額	調定額	収入済額	不納	収入	収入済額のうち還付未済額	予算現額に対する収入済額の増減	予算現額に対する収入済額の率	調定額に対する収入済額の率
		円	円	円	円	円	円	%	%	
令和元年度		19,020,719,000	18,456,507,963	18,455,519,110	0	988,853	0	△ 565,199,890	97.0	100.0
平成30年度		17,553,067,248	17,448,127,232	17,447,591,599	0	535,633	0	△ 105,475,649	99.4	100.0
対比 前較 年増 度減	金額	1,467,651,752	1,008,380,731	1,007,927,511	0	453,220				
	率	%	%	%	%	%				
		8.4	5.8	5.8	-	84.6				

決算額は、18,455,519,110円で、前年度に比べ 1,007,927,511円 (5.8%) 増加している。

収入未済額は、988,853円で、前年度に比べ 453,220円 (84.6%) 増加している。

予算現額に対する収入済額の増減は、565,199,890円減で、主なものは、次のとおりである。

款	項	目	節	金額	内 容
収益事業収入	収益事業収入	公営競馬収入	勝馬投票券発売収入	△ 495,291,600	県営第18・19回開催に係る勝馬投票券発売額の減
財産収入	財産運用収入	財産貸付収入	建物貸付収入	△ 10,687,675	金沢市施設貸付料等の減
諸収入	雜 入	雜 入	入場料	△ 1,085,400	県営第18・19回開催に係る入場料の減
			助成金	28,231,140	競馬振興特別助成金の増
			他場勝馬投票券発売業務協力金	△ 48,924,908	他場の勝馬投票券発売額の減に伴う業務協力金の減
			雜 入	△ 37,607,088	地方競馬活性化事業補助金等の減

歳 出

区分	予算現額	支出済額	翌年度繰越額		不 用 額	予算現額に対する支出去額の率
			繰越明許費	事故繰越し		
令和元年度	円 19,020,719,000	円 18,354,899,864	円 0	円 0	円 665,819,136	% 96.5
平成30年度	17,553,067,248	17,377,029,068	0	0	176,038,180	99.0
対比 前較 年増 度減	金額 1,467,651,752	977,870,796	0	0	489,780,956	/
	率 8.4	% 5.6	% -	% -	% 278.2	

決算額は、18,354,899,864円で、前年度に比べ 977,870,796円（5.6%）増加している。

不用額は、665,819,136円で、前年度に比べ 489,780,956円（278.2%）増加している。不用額の主なものは、次のとおりである。

款	項	目	節	金額	内 容
公 営 競 馬 費	公 営 競 馬 費	公 営 競 馬 費	賃 金	円 3,670,079	賃金の実績減
			報 償 費	1,554,297	県営第18・19回開催に係るレース数等の減に伴う賞金・手当の減
			需 用 費	5,287,507	燃料費等の減
			委 託 料	116,326,552	県営第18・19回開催に係る勝馬投票券発売額の減に伴う在宅投票業務委託料等の減
			使 用 料 及 び 賃 借 料	6,451,624	ファンパス借上料等の減
			工 事 請 負 費	69,533,220	スタンド棟改修費等の減
			負 担 金 補 助 及 び 交 付 金	34,379,246	県営第18・19回開催に係る勝馬投票券発売額の減に伴う他場発売業務協力金等の減
			償 還 金 利 子 及 び 割 引 料	425,238,990	県営第18・19回開催に係る勝馬投票券発売額の減に伴う払戻金等の減

石川県港湾整備特別会計

歳入

区分	予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	収入済額の うち還付 未済額	予算現額に 対する収入 済額の増減	予算現額に 対する収入 済額の率	調定額に 対する収入 済額の率
令和元年度	円 2,093,824,000	円 2,033,852,599	円 2,033,852,599	円 0	円 0	円 0	△ 59,971,401	% 97.1	% 100.0
平成30年度	2,988,661,000	2,741,553,856	2,741,553,856	0	0	0	△ 247,107,144	91.7	100.0
対比 前較 年増減 度減	金額 △ 894,837,000	△ 707,701,257	△ 707,701,257	0	0				
	率 △ 29.9	% △ 25.8	% △ 25.8	% -	% -				

決算額は、2,033,852,599円で、前年度に比べ 707,701,257円（25.8%）減少している。

予算現額に対する収入済額の増減は、59,971,401円減で、主なものは、次のとおりである。

款	項	目	節	金額	内容
使用料及び 手数料 県債	使用料 県債	港湾整備事業 使 用 料 土木債	港湾使用料 港湾整備費 △	円 4,930,000 65,000,000	港湾使用料の増 金沢港整備事業繰越による県債の 減

歳 出

区 分	予 算 現 額	支 出 濟 額	翌 年 度 繰 越 額		不 用 額	予算現額に 対する支出 済 額 の 率
			繰越明許費	事故繰越し		
令 和 元 年 度	円 2,093,824,000	円 2,028,820,531	円 65,000,000	円 0	円 3,469	% 96.9
平成 30 年度	2,988,661,000	2,725,791,807	262,000,000	0	869,193	91.2
対比 前較 年度 増減	金 額 △ 894,837,000	△ 696,971,276	△ 197,000,000	0	△ 865,724	
	率 △ 29.9	% △ 25.6	% △ 75.2	% -	% △ 99.6	

決算額は、2,028,820,531円で、前年度に比べ 696,971,276円（25.6%）減少している。

翌年度繰越額は、65,000,000円で、前年度に比べ 197,000,000円（75.2%）減少している。翌年度繰越額の内容は、次のとおりである。

款	項	目	事 業 名	翌 年 度 繰 越 額		繰 越 理 由
				繰越明許費	事故繰越し	
港湾整備事業費	整 備 費	整 備 費	整 備 費	円 65,000,000	円 0	荷役関係者等との調整に不測の日数を要したため

不用額は、3,469円で、前年度に比べ 865,724円（99.6%）減少している。

石川県流域下水道特別会計

歳入

区分	予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	収入済額のうち還付未済額	予算現額に対する収入済額の増減	予算現額に対する収入済額の率	調定額に対する収入済額の率
令和元年度	円 5,171,628,652	円 3,450,250,423	円 3,437,712,949	円 0	円 12,537,474	円 0	△ 1,733,915,703	% 66.5	% 99.6
平成30年度	3,596,746,185	2,717,408,699	2,717,408,699	0	0	0	△ 879,337,486	75.6	100.0
対比 前較 年増 度減	金額 1,574,882,467		732,841,724		720,304,250	0	12,537,474		
	率 % 43.8		% 27.0		% 26.5	% -	皆増		

決算額は、3,437,712,949円で、前年度に比べ 720,304,250円 (26.5%) 増加している。

収入未済額は、12,537,474円で、前年度に比べ皆増となっている。収入未済額の主なものは、次のとおりである。

款	項	目	節	金額	内 容
諸 収 入	雜 入	雜 入	メタンガス発電事業売電収入	円 12,502,475	企業会計移行に伴う打切り決算によるもの

予算現額に対する収入済額の増減は、1,733,915,703円減で、主なものは、次のとおりである。

款	項	目	節	金額	内 容
分担金及び負担金	負担金	流域下水道事業建設費負担金	梯川処理区建設費負担金	△ 円 95,324,277	事業繰越による建設負担金の減
			大聖寺川処理区建設費負担金	△ 105,045,637	〃
			犀川処理区建設費負担金	△ 132,610,889	〃
国庫支出金	国庫補助金	流域下水道事業建設費補助金	梯川処理区建設費補助金	△ 334,891,802	事業繰越による国庫支出金の減
			大聖寺川処理区建設費補助金	△ 346,313,406	〃
			犀川処理区建設費補助金	△ 373,517,600	〃
諸 収 入	雜 入	雜 入	メタンガス発電事業売電収入	△ 11,435,312	企業会計移行に伴う打切り決算による減
県 債	県 債	土木債	流域下水道事業費	△ 334,000,000	事業繰越による県債の減

歳 出

区分	予算現額	支出済額	翌年度繰越額		不 用 額	予算現額に対する支出済額の率
			繰越明許費	事故繰越し		
令和元年度	円 5,171,628,652	円 2,859,806,248	円 1,722,352,511	円 0	円 589,469,893	% 55.3
平成30年度	3,596,746,185	2,716,599,311	857,572,652	0	22,574,222	75.5
対比 前較 年増 度減	金額 1,574,882,467	143,206,937	864,779,859	0	566,895,671	/
	率 43.8	% 5.3	% 100.8	% -	% 2,511.3	

決算額は、2,859,806,248円で、前年度に比べ 143,206,937円 (5.3%) 増加している。

翌年度繰越額は、1,722,352,511円で、前年度に比べ 864,779,859円 (100.8%) 増加している。翌年度繰越額の内容は、次のとおりである。

款	項	目	事業名	翌年度繰越額		繰 越 理 由
				繰越明許費	事故繰越し	
流域下水道事業費	建設費	梯川処理区費	梯川処理区建設費	円 526,212,079	円 0	設計に係る現地調査に不測の日数を要したため
		大聖寺川処理区費	大聖寺川処理区建設費	557,353,043	0	"
		犀川処理区費	犀川処理区建設費	638,787,389	0	"
	計			1,722,352,511	0	

不用額は、589,469,893円で、前年度に比べ 566,895,671円 (2,511.3%) 増加している。不用額の主なものは、次のとおりである。

款	項	目	節	金額	内 容
流域下水道事業費	建設費	梯川処理区費	委託料	円 2,000,000	企業会計移行に伴う打切り決算による減
			工事請負費	58,200,180	"
			繰出金	1,620,000	"
		大聖寺川処理区費	委託料	7,876,514	"
			繰出金	2,850,000	"
		犀川処理区費	工事請負費	17,004,674	"
			繰出金	6,879,000	"
	管理費	梯川処理区費	委託料	50,183,115	"
			工事請負費	95,559,680	"
			負担金	1,675,000	"
		大聖寺川処理区費	繰出金	16,841,000	"
			委託料	23,658,775	"
		犀川処理区費	工事請負費	36,934,780	"
			負担金	1,269,000	"
			繰出金	12,762,000	"
			委託料	81,446,195	"
			工事請負費	146,471,000	"
			負担金	2,257,000	"
			繰出金	22,699,000	"

石川県育英資金特別会計

歳入

区分	予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	収入済額の うち還付 未済額	予算現額に 対する収入 済額の増減	予算現額に 対する収入 済額の率	調定額に 対する収入 済額の率
平成元年度	円 247,590,000	円 1,713,347,927	円 1,651,065,087	円 0	円 62,282,840	円 0	円 1,403,475,087	% 666.9	% 96.4
平成30年度	275,858,000	1,662,185,372	1,603,753,151	0	58,432,221	0	1,327,895,151	581.4	96.5
対比 前較 年増 度減	金額 △ 28,268,000	51,162,555	47,311,936	0	3,850,619				
率	% △ 10.2	% 3.1	% 3.0	% -	% 6.6				

決算額は、1,651,065,087円で、前年度に比べ 47,311,936円 (3.0%) 増加している。

収入未済額は、62,282,840円で、前年度に比べ 3,850,619円 (6.6%) 増加している。収入未済額の内容は、次のとおりである。

款	項	目	節	金額	内 容
貸付金元利収入	貸付金元利収入	貸付金元利収入	学資貸与金	円 15,051,855	現年度償還金
諸 収 入	雜 入	過年度収入	貸付金元利収入	円 10,316,502	前年度償還金
			諸 収 入	円 36,914,483	平成29年度以前償還金
		計		円 62,282,840	

予算現額に対する収入済額の増減は、1,403,475,087円増で、主なものは、次のとおりである。

款	項	目	節	金額	内 容
貸付金元利収入	貸付金元利収入	貸付金元利収入	学資貸与金	円 79,257,179	繰上償還等による増
繰 越 金	繰 越 金	繰 越 金	前年度繰越金	円 1,324,131,032	前年度返還実績の増による繰越金の増

歳出

区分	予算現額	支出済額	翌年度繰越額		不 用 額	予算現額に 対する支出 済額の率
			繰越明許費	事故繰越し		
令和元年度	円 247,590,000	円 243,729,245	円 0	円 0	円 3,860,755	% 98.4
平成30年度	275,858,000	272,361,119	0	0	3,496,881	98.7
対比 前較 年増 度減	金額 △ 28,268,000	△ 28,631,874	0	0	363,874	
率	% △ 10.2	% △ 10.5	% -	% -	% 10.4	

決算額は、243,729,245円で、前年度に比べ 28,631,874円 (10.5%) 減少している。

不用額は、3,860,755円で、前年度に比べ 363,874円 (10.4%) 増加している。不用額の主なものは、次のとおりである。

款	項	目	節	金額	内 容
教 育 費	育英資金費	育英資金費	負担金補助金	円 3,180,000	貸付申込等の実績減

石 川 県 公 債 管 理 特 別 会 計

歳 入

区 分	予 算 現 額	調 定 額	収 入 济 額	不 納	收 入	収入済額の うち還付	予 算 現 額 に 対 す る 収 入	予 算 現 額 に 対 す る 収 入	調 定 額 に 対 す る 収 入
				欠 損 額	未 済 額	未 済 額	済 額 の 増 減	済 額 の 率	済 額 の 率
令 和 元 年 度	円 210,298,517,000	円 210,297,716,349	円 210,297,716,349	円 0	円 0	円 0	△ 800,651	% 100.0	% 100.0
平成 30 年 度	176,858,560,000	176,857,558,453	176,857,558,453	0	0	0	△ 1,001,547	100.0	100.0
対 比 前 較 年 度 増 減	金 額	33,439,957,000	33,440,157,896	33,440,157,896	0	0			
	率	% 18.9	% 18.9	% 18.9	% -	% -			

決算額は、210,297,716,349円で、前年度に比べ 33,440,157,896円（18.9%）増加している。

予算現額に対する収入済額の増減は、800,651円減である。

歳 出

区 分	予 算 現 額	支 出 济 額	翌 年 度 繰 越 額		不 用 額	予 算 現 額 に 対 す る 支 出 済 額 の 率
			繰越明許費	事故繰越し		
令 和 元 年 度	円 210,298,517,000	円 210,297,716,349	円 0	円 0	円 800,651	% 100.0
平成 30 年 度	176,858,560,000	176,857,558,453	0	0	1,001,547	100.0
対 比 前 較 年 度 増 減	金 額	33,439,957,000	33,440,157,896	0	△ 200,896	
	率	% 18.9	% 18.9	% -	% -	20.1

決算額は、210,297,716,349円で、前年度に比べ 33,440,157,896円（18.9%）増加している。

不用額は、800,651円で、前年度に比べ 200,896円（20.1%）減少している。

(4) 県有財産

公有財産、物品、債権及び基金の状況は、次のとおりである。

区分	平成30年度末現在高	令和元年度中増減高			令和元年度末現在高	備考	
		増	減	単位			
公有財産	土地	65,496,271.72	53,535.10	42,941.94	65,506,864.88	m ²	山林(所有林)を含む
	建物	2,104,740.68	22,034.96	23,247.37	2,103,528.27	m ²	延べ面積
	山林	所 有 林	44,803,499.13	69.12	299.13	44,803,269.12	m ²
		分 収 林	7,085,812.91	0.00	0.00	7,085,812.91	m ²
		立 木	3,202,132.26	0.00	193.76	3,201,938.50	m ³ 立木の推定蓄積量
	動産	5	0	0	5	隻・機	船舶、航空機
	物権	地 上 権	7,132,419.16	0.00	0.00	7,132,419.16	m ²
		地 役 権	41.84	0.00	0.00	41.84	m ²
		温 泉 権	1	0	0	1	件
	無体財産権	99	8	11	96	件	特許権、著作権等
	有価証券	3,081,525,500	0	0	3,081,525,500	円	株券
	出資による権利	57,129,884,415	523,236,000	1,173,630,766	56,479,489,649	円	出資金、出捐金
物品		8,971	270	165	9,076	台・点・頭	
債権		74,092,381,118	3,386,816,800	1,474,038,066	76,005,159,852	円	
基金		142,636,787,691	4,173,053,311	2,934,589,738	143,875,251,264	円	

ア 公有財産

(ア) 土地及び建物

土地の当年度末現在高は、65,506,864.88 m²で、前年度末現在高に比べ 10,593.16 m² (0.02%) 増加している。

建物の当年度末現在高は、2,103,528.27 m²で、前年度末現在高に比べ 1,212.41 m² (0.1%) 減少している。

区分	平成30年度末現在高	令和元年度中増減高			令和元年度末現在高	対前年比	
		増	減	差引			
土地	行政財産	m ²	m ²	m ²	m ²	%	
	普通財産	57,516,228.90	25,096.58	25,468.06	△ 371.48	57,515,857.42	100.0
	計	7,980,042.82	28,438.52	17,473.88	10,964.64	7,991,007.46	100.1
建物	行政財産	1,826,885.06	9,855.03	11,214.59	△ 1,359.56	1,825,525.50	99.9
	普通財産	277,855.62	12,179.93	12,032.78	147.15	278,002.77	100.1
	計	2,104,740.68	22,034.96	23,247.37	△ 1,212.41	2,103,528.27	99.9

(注)建物は、延べ面積である。

土地の増減の内容は、次のとおりである。

増			減		
口座名	面積	理由	口座名	面積	理由
木場潟公園	13,376.10	m ² 購入	能登空港周辺地	6,972.00	m ² 分類換
"	6,859.00	寄附受入	旧県央土木総合事務所	6,098.70	"
七尾警察署建設用地	2,586.61	購入	能登空港周辺地	7,108.63	売 払
能登空港周辺地	6,972.00	分類換	旧野田独身寮	734.32	"
旧県央土木総合事務所	6,098.70	"			
その他の	17,642.69	分類換等	その他の	22,028.29	分類換等
計	53,535.10		計	42,941.94	

建物の増減の内容は、次のとおりである。

増			減		
口座名	面積	理由	口座名	面積	理由
鶴ヶ丘公営住宅	1,808.91	m ² 新築	旧県央土木総合事務所	2,265.46	m ² 分類換
小松特別支援学校	513.74	増築	旧歴史博物館収蔵庫	2,127.89	取りこわし
国立工芸館	2,925.93	新築	旧あさひ荘	2,012.92	分類換
県営1号上屋	2,545.02	公共物から編入	交通機動隊旧庁舎	1,201.59	撤去
旧県央土木総合事務所	2,265.46	分類換	旧警察官待機宿舎 (旧はまなす荘)	1,010.28	分類換
旧あさひ荘	2,012.92	"	県営1号上屋	2,545.02	撤去
旧警察官待機宿舎 (旧はまなす荘)	1,010.28	"	米泉職員住宅	2,410.90	"
			旧県央土木総合事務所	2,265.46	"
			金沢みなと会館	2,067.79	"
その他の	8,952.70	分類換等	その他の	5,340.06	分類換等
計	22,034.96		計	23,247.37	

(イ) 山 林

山林の当年度末現在高は、51,889,082.03m²で、前年度末現在高に比べ 230.01m²減少している。

立木の当年度末現在高は、3,201,938.50m³で、前年度末現在高に比べ 193.76m³減少している。

区分		平成30年度末 現在高	平成元年度中増減高			令和元年度末 現在高	対前年度 比率
			増	減	差引		
山林	所 有 林	m ² 44,803,499.13	m ² 69.12	m ² 299.13	m ² △ 230.01	m ² 44,803,269.12	% 100.0
	分 収 林	m ² 7,085,812.91	m ² 0.00	m ² 0.00	m ² 0.00	m ² 7,085,812.91	% 100.0
	計	m ² 51,889,312.04	m ² 69.12	m ² 299.13	m ² △ 230.01	m ² 51,889,082.03	% 100.0
立木	所 有 林	m ³ 2,702,641.14	m ³ 0.00	m ³ 193.76	m ³ △ 193.76	m ³ 2,702,447.38	% 100.0
	分 収 林	m ³ 499,491.12	m ³ 0.00	m ³ 0.00	m ³ 0.00	m ³ 499,491.12	% 100.0
	計	m ³ 3,202,132.26	m ³ 0.00	m ³ 193.76	m ³ △ 193.76	m ³ 3,201,938.50	% 100.0

山林の増減の内容は、次のとおりである。

増			減		
口座名	面積	理由	口座名	面積	理由
西山パーキングエリア	m ² 69.12	公共物から編入	大島海岸景観地	m ² 248.10	分類換
			西山パーキングエリア	m ² 51.03	誤記訂正
計	69.12		計	299.13	

立木の増減の内容は、次のとおりである。

増			減		
口座名	推定蓄積量	理由	口座名	推定蓄積量	理由
	m ³		菊水県有林	m ³ 124.76	伐採
			その他	m ³ 69.00	"
計	0.00		計	193.76	

(ウ) 動 産

当年度末現在高は、年度中の増減がないことから、前年度末現在高と同じである。

区分	平成30年度末 現在高	平成元年度中増減高			令和元年度末 現在高	対前年度 比率
		増	減	差引		
船 舶	隻 4	隻 0	隻 0	隻 0	隻 4	% 100.0
	総トン 435.00	総トン 0.00	総トン 0.00	総トン 0.00	総トン 435.00	% 100.0
航 空 機	機 1	機 0	機 0	機 0	機 1	% 100.0

(エ) 物 権

当年度末現在高は、年度中の増減がないことから、前年度末現在高と同じである。

区分	平成30年度末 現在高	令和元年度中増減高			令和元年度末 現在高	対前年度 比率
		増	減	差引		
地上権	m ² 7,132,419.16	m ² 0.00	m ² 0.00	m ² 0.00	m ² 7,132,419.16	% 100.0
地役権	41.84	0.00	0.00	0.00	41.84	100.0
温泉権	件 1	件 0	件 0	件 0	件 1	% 100.0

(オ) 無体財産権

当年度末現在高は、96件で、前年度末現在高に比べ3件(3.0%)減少している。

区分	平成30年度末 現在高	令和元年度中増減高			令和元年度末 現在高	対前年度 比率
		増	減	差引		
特許権	件 80	件 5	件 10△	件 5	件 75	% 93.8
著作権	2	0	0	0	2	100.0
育成者権	15	3	0	3	18	120.0
実用新案権	2	0	1△	1	1	50.0
計	99	8	11△	3	96	97.0

(カ) 有価証券

当年度末現在高は、年度中の増減がないことから、前年度末現在高と同じである。

区分	平成30年度末 現在高	令和元年度中増減高			令和元年度末 現在高	対前年度 比率
		増	減	差引		
株券	円 3,081,525,500	円 0	円 0	円 0	円 3,081,525,500	% 100.0

(キ) 出資による権利

当年度末現在高は、56,479,489,649円で、前年度末現在高に比べ 650,394,766円 (1.1%) 減少している。

区分	平成30年度末 現 在 高	令和元年 度 中 増 減 高			令和元年度末 現 在 高	対前年度 比 率
		増	減	差 引		
出 資 金	12,808,524,753	521,300,000	521,306,766	△ 6,766	12,808,517,987	100.0
出 捐 金	44,321,359,662	1,936,000	652,324,000	△ 650,388,000	43,670,971,662	98.5
計	57,129,884,415	523,236,000	1,173,630,766	△ 650,394,766	56,479,489,649	98.9

出資金の増の内容は、次のとおりである。

名 称	金 額	理 由
全 国 漁 業 信 用 基 金 協 会	521,300,000 円	組織変更

出資金の減の内容は、次のとおりである。

名 称	金 額	理 由
石 川 県 漁 業 信 用 基 金 协 会	521,300,000 円	組織変更
独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構	6,766	出資金返還
計	521,306,766	

出捐金の増の内容は、次のとおりである。

名 称	金 額	理 由
石 川 県 農 業 信 用 基 金 協 会	1,936,000 円	追加出捐

出捐金の減の内容は、次のとおりである。

名 称	金 額	理 由
公益財団法人石川県産業創出支援機構	645,324,000 円	国補助金を国庫に返還
一般財団法人先端医学薬学研究センター	7,000,000	解散
計	652,324,000	

イ 物 品

当年度末現在高は、9,076点で、前年度末現在高に比べ 105点 (1.2%) 増加している。

区分	平成30年度末 現 在 高	令和元年 度 中 増 減 高			令和元年度末 現 在 高	対前年度 比 率
		増	減	差引		
重 要 美 術 品	(台・点・頭) 4,363	47	0	47	(台・点・頭) 4,410	101.1
車 車	両 1,056	60	57	3	1,059	100.3
機 械 器 具	3,342	158	106	52	3,394	101.6
動 物	14	1	1	0	14	100.0
そ の 他	196	4	1	3	199	101.5
計	8,971	270	165	105	9,076	101.2

ウ 債 権

当年度末現在高は、76,005,159,852円で、前年度末現在高に比べ 1,912,778,734円 (2.6%) 増加している。

区分	平成30年度末 現 在 高	令和元年 度 中 増 減 高			令和元年度末 現 在 高	対前年度 比 率
		増	減	差引		
貸 付 金	円 73,831,157,373	円 3,386,650,720	円 1,440,684,663	円 1,945,966,057	円 75,777,123,430	% 102.6
敷 金 (権利金を含む)	135,203,120	166,080	0	166,080	135,369,200	100.1
賠 償 金	126,020,625	0	33,353,403	△ 33,353,403	92,667,222	73.5
計	74,092,381,118	3,386,816,800	1,474,038,066	1,912,778,734	76,005,159,852	102.6

債権の増減の内容は、次のとおりである。

増			減		
名 称	金 額	理 由	名 称	金 額	理 由
いしかわ子ども・子育て応援資金貸付金	円 2,000,000,000	貸付	石川県中小企業近代化資金貸付金	382,345,000	償還
公益財団法人石川県林業公社資金貸付金	686,596,000	〃	石川県育英資金貸付金	303,432,034	〃
石川県育英資金貸付金	223,555,000	〃	公益財団法人石川県林業公社資金貸付金	210,988,000	〃
石川県緊急医師確保修学資金貸付	150,000,000	〃	石川県母子父子寡婦福祉資金貸付金	101,434,430	〃
石川県母子父子寡婦福祉資金貸付	112,758,720	〃	のとじま水族館パノラマ大水槽整備資金貸付金	70,942,000	〃
石川県看護師等修学資金貸付	88,407,000	〃	石川県緊急医師確保修学資金貸付金	54,000,000	〃
身体障害者福祉工場事業資金貸付	64,510,000	〃	石川県看護師等修学資金貸付金	53,873,000	〃
石川県白山林道資金貸付金	57,424,000	〃	石川県県民ふれあい公社事業資金貸付金	50,423,000	〃
そ の 他	3,566,080	貸付等	そ の 他	246,600,602	償還等
計	3,386,816,800		計	1,474,038,066	

工 基 金

当年度末現在高は、143,875,251,264円で、前年度末現在高に比べ 1,238,463,573円（0.9%）
増加している。

区 分	平成30年度末 現 在 高	令 和 元 年 度 中 増 減 高			令和元年度末 現 在 高	対前年度 比 率
		増	減	差 引		
財政調整基金	11,467,420,762	368,833,414	0	368,833,414	11,836,254,176	103.2
県有施設整備基金	45,445,884,052	2,315,394	0	2,315,394	45,448,199,446	100.0
減債基金	44,451,697,788	516,689,953	0	516,689,953	44,968,387,741	101.2
地域振興基金	46,035,907	4,650	0	4,650	46,040,557	100.0
土地開発基金	4,150,430,410	6,606,900	6,318,360	288,540	4,150,718,950	100.0
自治振興資金貸付基金	9,617,697,000	349,341,416	349,341,416	0	9,617,697,000	100.0
災害救助基金	705,522,000	41,829,492	8,972,492	32,857,000	738,379,000	104.7
地震灾害対策緊急整備基金	671,030,590	72,594	8,449,500	△ 8,376,906	662,653,684	98.8
並行在来線運行支援基金	1,122,773,762	267,935,763	8,570,469	259,365,294	1,382,139,056	123.1
美術品購入基金	202,736,072	22,166	0	22,166	202,758,238	100.0
スポーツ振興基金	510,205,419	0	0	0	510,205,419	100.0
社会福祉事業振興基金	4,465,344,702	71,142,000	70,942,000	200,000	4,465,544,702	100.0
介護保険財政安定化基金	1,889,441,678	190,803	0	190,803	1,889,632,481	100.0
後期高齢者医療基金 財政安定化基金	2,029,098,423	184,217,701	0	184,217,701	2,213,316,124	109.1
国民健康保険財政安定化基金	2,149,383,172	214,584	103,000,000	△ 102,785,416	2,046,597,756	95.2
地域医療介護総合確保基金	4,682,667,042	1,244,898,209	771,902,620	472,995,589	5,155,662,631	110.1
保育環境整備基金	100,756,718	3,522	82,577,000	△ 82,573,478	18,183,240	18.0
環境保全基金	374,215,979	710,909,346	716,995,744	△ 6,086,398	368,129,581	98.4
いしかわ人材確保・定住推進基金 積立金	2,028,993,993	1,304,431	202,784,109	△ 201,479,678	1,827,514,315	90.1
農業構造改革支援基金	286,750,280	28,161	30,212,139	△ 30,183,978	256,566,302	89.5
ふるさと・水と土保全基金	1,043,778,798	0	23,121,130	△ 23,121,130	1,020,657,668	97.8

区分	平成30年度末 現在高	令和元年度中増減高			令和元年度末 現在高	対前年度 比率
		増	減	差引		
森林整備地域活動支援基金	円 8,827,144	円 270	円 7,572,435	△ 7,572,165	円 1,254,979	% 14.2
いしかわ森林環境基金	82,726,057	385,197,010	382,908,059	2,288,951	85,015,008	102.8
森林環境譲与税基金	-	0	0	0	0	-
公営競馬財政調整基金	2,177,995,347	219,950	0	219,950	2,178,215,297	100.0
公営競馬減債基金	795,773,862	86,997	125,265	△ 38,268	795,735,594	100.0
金沢港機能強化整備基金	2,000,160,210	190,288	140,000,000	△ 139,809,712	1,860,350,498	93.0
育英基金	129,440,524	20,798,297	20,797,000	1,297	129,441,821	100.0
計 28 基金	142,636,787,691	4,173,053,311	2,934,589,738	1,238,463,573	143,875,251,264	100.9

当年度の基金の総数は、前年度の29基金のうち、地球温暖化対策等推進基金及び消費者行政活性化基金が廃止され、当年度新たに森林環境譲与税基金が設置されたことから、28基金となっている。

基金の運用状況は、次のとおりである。

区分	平成30年度末 現在高	令和元年度中増減高			令和元年度末 現在高	対前年度 比率
		増	減	差引		
動産	円 33,870,233	円 4,569,838	円 4,402,654	円 167,184	円 34,037,417	% 100.5
有価証券	10,029,000	0	0	0	10,029,000	100.0
現金	130,614,544,756	3,694,423,473	2,249,918,264	1,444,505,209	132,059,049,965	101.1
貸付金	11,978,343,702	474,060,000	680,268,820	△ 206,208,820	11,772,134,882	98.3
計	142,636,787,691	4,173,053,311	2,934,589,738	1,238,463,573	143,875,251,264	100.9

令和元年度定額の資金を運用する
基 金 の 運 用 状 況 審 査 意 見 書

第1 審査の概要

1 審査の対象

令和元年度基金運用状況の審査の対象とした基金は、次の2基金である。

石川県土地開発基金

石川県自治振興資金貸付基金

2 審査の方法

基金運用状況の審査に当たっては、石川県監査委員監査基準（令和2年石川県監査委員告示第1号）に基づき、定額の資金を運用する基金の運用状況報告書について、

- ・運用に関する計数は、正確であるか
- ・基金の運用が、確実かつ効率的に行われているか

を主眼として、関係諸帳簿、証書類及び指定金融機関からの収支証明書を調査照合し、さらに定期監査及び例月出納検査の結果も参考にして審査した。

第2 審査の結果及び意見

1 審査の結果

各基金の運用に関する計数は、関係諸帳簿、証書類及び指定金融機関の計数と符合しており、正確なものと認める。

また、各基金の運用は、おおむね適正に行われていると認められる。

2 審査の意見

各基金とも現金として運用されている額が大きく、それぞれについて将来見通しを立てながら、基金の規模等について検討されたい。

第3 運用の状況

1 石川県土地開発基金

本基金は、公用若しくは公共用に供する土地又は公共の利益のために取得する必要のある土地をあらかじめ取得することにより、事業の円滑な執行を図るため設置されたものであり、その運用状況は次のとおりである。

区分	平成30年度末 基金現在高	令和元年度中の運用状況				令和元年度末 基金現在高
		基金繰入高	貸付金償還	新規貸付高	基金処分高	
有価証券	円 0	円 0	円 0	円 0	円 0	円 0
現 金	3,129,810,708	288,540	6,029,820	0	0	3,136,129,068
貸 付 金	1,020,619,702	0	△ 6,029,820	0	0	1,014,589,882
計	4,150,430,410	288,540	0	0	0	4,150,718,950

基金繰入高は、土地取得特別会計からの繰入で、貸付金償還は、土地取得特別会計からの償還である。

2 石川県自治振興資金貸付基金

本基金は、市町の振興を図り、県民福祉の増進に寄与することを目的として市町（一部事務組合を含む。）に対し、その実施する事業に要する資金の貸付けを行うため設置されたものであり、その運用状況は次のとおりである。

区分	平成30年度末 基金現在高	令和元年度中の運用状況				令和元年度末 基金現在高
		基金繰入高	貸付金償還	新規貸付高	基金処分高	
有価証券	円 0	円 0	円 0	円 0	円 0	円 0
現 金	4,195,917,000	0	240,841,416	△ 111,281,416	0	4,325,477,000
貸 付 金	5,421,780,000	0	△ 238,060,000	108,500,000	0	5,292,220,000
計	9,617,697,000	0	2,781,416	△ 2,781,416	0	9,617,697,000

貸付金償還は、10市7町からの償還で、新規貸付高は、1市2町への貸付けである。
なお、償還利子 2,394,588円及び運用により生じた預金利子 386,828円は、一般会計へ繰出している。

付 表

- 1 目 的 別 県 債 現 在 高 調
- 2 県 稅 収 入 状 況 調
- 3 収 入 未 濟 額 調
- 4 翌 年 度 繰 越 額 科 目 別 内 訳
- 5 債 務 負 担 行 為 調

1 目的別県債現在高調

区分	平成30年度末 現 在 高 (A)	令和元年度における増減		令和元年度末 現 在 高 (A)+(B)-(C)	構成比率
		借 入 額 (B)	償 返 額 (C)		
一般会計	普通通債	千円 715,621,033	千円 52,994,000	千円 53,376,468	千円 715,238,565 58.5
	土木	440,496,878	35,503,000	36,813,800	439,186,078 35.9
	農林水産	71,091,868	4,771,000	4,994,888	70,867,980 5.8
	教育	37,537,988	1,816,000	2,303,371	37,050,617 3.0
	公営住宅	7,361,562	313,000	644,355	7,030,207 0.6
	その他	159,132,737	10,591,000	8,620,054	161,103,683 13.2
	災害復旧債	5,013,752	549,000	599,717	4,963,035 0.4
	土木	4,711,103	506,000	546,666	4,670,437 0.4
	農林水産	267,641	43,000	48,174	262,467 0.0
	その他	35,008	0	4,877	30,131 0.0
計	その他債	477,671,394	22,860,000	30,862,083	469,669,311 38.4
	退職手当債	33,783,042	2,000,000	1,340,509	34,442,533 2.8
	転貸債	24,542,661	0	305,300	24,237,361 2.0
	臨時財政対策債	395,476,689	20,860,000	27,857,647	388,479,042 31.8
	その他	23,869,002	0	1,358,627	22,510,375 1.8
計		1,198,306,179	76,403,000	84,838,268	1,189,870,911 97.3
特別会計	母子父子寡婦福祉資金	678,332	16,000	0	694,332 0.1
	中小企業近代化資金貸付金	13,943,209	0	197,945	13,745,264 1.1
	就農支援資金	66,737	0	66,737	0 0.0
	公営競馬	873,000	0	0	873,000 0.1
	港湾整備	10,429,614	1,437,000	1,302,215	10,564,399 0.9
	流域下水道	7,117,846	277,000	625,334	6,769,512 0.6
	計	33,108,738	1,730,000	2,192,231	32,646,507 2.7
合 計		1,231,414,917	78,133,000	87,030,499	1,222,517,418 100.0

(注) 借入額には、前年度からの繰越額 11,826,000千円が含まれている。

(一般会計 11,410,000千円、港湾整備特別会計 262,000千円、流域下水道特別会計 154,000千円)

(参考)住民基本台帳人口 1,134,643人（令和2年3月末日現在）

県民一人当たり県債残高 一般会計 1,189,870,911千円 ÷ 1,134,643人 = 1,048,674円
特別会計 32,646,507千円 ÷ 1,134,643人 = 28,772円

2 県税収入状況調

区分			予算現額	調定期額	収入済額	
県 民 税	個人	現 滞 計	円 42,253,000,000 504,609,000 42,757,609,000	円 42,811,247,923 1,637,055,857 44,448,303,780	円 42,366,203,545 504,608,987 42,870,812,532	
	法人	現 滞 計	6,746,769,000 10,128,000 6,756,897,000	6,837,584,900 36,640,441 6,874,225,341	6,828,746,423 10,127,719 6,838,874,142	
	利子割	現	210,000,000	216,522,120	216,522,120	
事 業 税	計	現	49,209,769,000	49,865,354,943	49,411,472,088	
		滞	514,737,000	1,673,696,298	514,736,706	
		計	49,724,506,000	51,539,051,241	49,926,208,794	
地 消 費 方 税	個人	現 滞 計	1,584,000,000 16,000,000 1,600,000,000	1,661,022,400 70,574,302 1,731,596,702	1,632,998,451 22,397,287 1,655,395,738	
	法人	現 滞 計	36,006,000,000 14,000,000 36,020,000,000	36,354,820,285 112,297,857 36,467,118,142	36,328,660,084 14,370,436 36,343,030,520	
	計	現 滞 計	37,590,000,000 30,000,000 37,620,000,000	38,015,842,685 182,872,159 38,198,714,844	37,961,658,535 36,767,723 37,998,426,258	
不動産取徴税	譲渡割	現	29,079,765,000	29,079,765,600	29,079,765,600	
	貨物割	現	2,486,212,000	2,486,946,926	2,486,946,926	
	計	現	31,565,977,000	31,566,712,526	31,566,712,526	
県たばこ税	現	現	3,090,000,000	3,144,849,300	3,119,458,003	
		滞	18,877,000	112,243,552	18,877,271	
		計	3,108,877,000	3,257,092,852	3,138,335,274	
ゴルフ場利用税			現 滞 計	534,000,000 0 534,000,000	552,233,325 1,131,350 553,364,675	
自動車取徴税			現 滞 計	1,137,000,000 0 1,137,000,000	1,137,873,500 30,300 1,137,903,800	
軽油引取税			現 滞 計	10,039,000,000 63,143,000 10,102,143,000	10,118,140,259 63,194,002 10,181,334,261	
自動車税	自動車税	現 滞 計	17,460,000,000 89,008,000 17,549,008,000	17,594,051,500 213,322,815 17,807,374,315	17,485,072,850 89,007,808 17,574,080,658	
	環境性能割	現	480,000,000	501,877,000	501,877,000	
	種別割	現	123,000,000	123,567,600	123,567,600	
合計			現 滞 計	18,063,000,000 89,008,000 18,152,008,000	18,219,496,100 213,322,815 18,432,818,915	
鉱区税			現	428,000	427,700	
狩猟税			現	11,741,000	11,740,500	
核燃料税			現	770,452,000	770,452,400	
合計			現	153,251,367,000	154,651,508,868	
			滞	715,765,000	2,246,490,476	
			計	153,967,132,000	156,897,999,344	
(注) 区分欄の「現」は現年度課税分であり、「滯」は滞納繰越分である。						

不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	収入済額のうち 還付未済額	調 定 額 に 対 す る 収 入 済 額 の 率		
			令 和 元 年 度	平 成 3 0 年 度	対 前 年 度 比 較 増 減
円 352,056	円 449,718,094	円 5,025,772	% 99.0	% 98.8	△ 0.2
84,826,930	1,047,739,891	119,951	30.8	32.5	△ 1.7
85,178,986	1,497,457,985	5,145,723	96.5	96.1	△ 0.4
0	8,862,577	24,100	99.9	99.8	△ 0.1
5,235,816	21,297,906	21,000	27.6	15.2	△ 12.4
5,235,816	30,160,483	45,100	99.5	99.3	△ 0.2
0	0	0	100.0	100.0	△ 0.0
352,056	458,580,671	5,049,872	99.1	99.0	△ 0.1
90,062,746	1,069,037,797	140,951	30.8	32.1	△ 1.3
90,414,802	1,527,618,468	5,190,823	96.9	96.6	△ 0.3
0	28,023,949	0	98.3	97.8	△ 0.5
3,957,026	44,219,989	0	31.7	34.3	△ 2.6
3,957,026	72,243,938	0	95.6	95.6	△ 0.0
0	26,210,001	49,800	99.9	99.9	△ 0.0
10,464,937	87,462,484	0	12.8	9.0	△ 3.8
10,464,937	113,672,485	49,800	99.7	99.7	△ 0.0
0	54,233,950	49,800	99.9	99.8	△ 0.1
14,421,963	131,682,473	0	20.1	18.8	△ 1.3
14,421,963	185,916,423	49,800	99.5	99.5	△ 0.0
0	0	0	100.0	100.0	△ 0.0
0	0	0	100.0	100.0	△ 0.0
0	0	0	100.0	100.0	△ 0.0
0	25,433,797	42,500	99.2	98.7	△ 0.5
706,692	92,659,589	0	16.8	31.2	△ 14.4
706,692	118,093,386	42,500	96.4	95.9	△ 0.5
0	4,278	0	100.0	100.0	△ 0.0
0	5,106,675	0	99.1	99.8	△ 0.7
0	0	0	100.0	100.0	△ 0.0
0	5,106,675	0	99.1	99.8	△ 0.7
0	0	0	100.0	100.0	△ 0.0
0	0	0	100.0	—	△ 皆増
0	0	0	100.0	100.0	△ 0.0
0	73,265,819	0	99.3	99.4	△ 0.1
0	0	0	100.0	100.0	△ 0.0
0	73,265,819	0	99.3	99.4	△ 0.1
215,400	108,771,950	8,700	99.4	99.4	△ 0.0
13,581,671	110,841,613	108,277	41.7	43.9	△ 2.2
13,797,071	219,613,563	116,977	98.7	98.7	△ 0.0
0	0	0	100.0	—	△ 皆増
0	0	0	100.0	—	△ 皆増
215,400	108,771,950	8,700	99.4	99.4	△ 0.0
13,581,671	110,841,613	108,277	41.7	43.9	△ 2.2
13,797,071	219,613,563	116,977	98.7	98.7	△ 0.0
0	0	0	100.0	100.0	△ 0.0
0	0	0	100.0	100.0	△ 0.0
0	0	0	100.0	100.0	△ 0.0
567,456	725,397,140	5,150,872	99.5	99.5	△ 0.0
118,773,072	1,404,221,472	249,228	32.2	33.9	△ 1.7
119,340,528	2,129,618,612	5,400,100	98.6	98.5	△ 0.1

3 収入未済額調

(1) 一般会計

課名	款別	令和元		
		県税	分担金及び負担金	使用料及び手数料
税務課		円 2,129,618,612	円 0	円 0
スポーツ振興課		0	0	0
厚生政策課		0	0	0
長寿社会課		0	0	0
障害保健福祉課		0	87,600	0
医療対策課		0	0	0
少子化対策監室		0	2,352,985	0
廃棄物対策課		0	0	0
経営支援課		0	0	0
農業政策課		0	0	0
監理課		0	0	0
道路整備課		0	0	0
河川課		0	0	1,620
建築住宅課		0	0	8,380,500
庶務課		0	0	0
会計課		0	0	0
合計		2,129,618,612	2,440,585	8,382,120
平成30年度		2,270,431,542	2,480,352	7,400,500
対前年度	金額	△ 140,812,930	△ 39,767	981,620
比較増減	率	% △ 6.2	% △ 1.6	% △ 13.3

(2) 特別会計

課名	款別	令和元				
		母子父子寡婦福祉資金	中小企業近代化資金貸付金	就農支援資金	林業改善資金	公営競馬
少子化対策監室		円 128,167,032	円 0	円 0	円 0	円 0
経営支援課		0	3,203,753,433	0	0	0
農業政策課		0	0	5,371,151	0	0
森林管理課		0	0	0	29,539,848	0
競馬事業局		0	0	0	0	988,853
都市計画課		0	0	0	0	0
庶務課		0	0	0	0	0
合計		128,167,032	3,203,753,433	5,371,151	29,539,848	988,853
平成30年度		123,814,887	3,216,228,443	6,323,151	29,682,950	535,633
対前年度	金額	4,352,145	△ 12,475,010	△ 952,000	△ 143,102	453,220
比較増減	率	% 3.5	% △ 0.4	% △ 15.1	% △ 0.5	% △ 84.6

年 度		平成30年度額	対前年度比較増減	
諸 収 入	計		金額	率
円	円	円	円	%
117,998,842	2,247,617,454	2,405,267,983	△ 157,650,529	△ 6.6
78,980	78,980	0	78,980	皆増
5,912,551	5,912,551	11,794,381	△ 5,881,830	△ 49.9
671,996	671,996	671,996	0	0.0
8,859,146	8,946,746	12,268,166	△ 3,321,420	△ 27.1
5,823,968	5,823,968	5,765,968	58,000	1.0
18,109,599	20,462,584	20,797,030	△ 334,446	△ 1.6
44,481,325	44,481,325	44,613,325	△ 132,000	△ 0.3
194,774	194,774	194,774	0	0.0
30,505,289	30,505,289	143,467,572	△ 112,962,283	△ 78.7
215,707	215,707	215,707	0	0.0
374,850	374,850	374,850	0	0.0
118,650	120,270	118,650	1,620	1.4
57,325,971	65,706,471	63,697,257	2,009,214	3.2
10,000	10,000	46,000	△ 36,000	△ 78.3
2,189,000	2,189,000	2,205,000	△ 16,000	△ 0.7
292,870,648	2,433,311,965	2,711,498,659	△ 278,186,694	△ 10.3
431,186,265	2,711,498,659			
△ 138,315,617	△ 278,186,694			
%	%			
△ 32.1	△ 10.3			

年 度		平成30年度額	対前年度比較増減	
流 域 下 水 道	育 英 資 金		金額	率
円	円	円	円	%
0	0	128,167,032	123,814,887	4,352,145 3.5
0	0	3,203,753,433	3,216,228,443	△ 12,475,010 △ 0.4
0	0	5,371,151	6,323,151	△ 952,000 △ 15.1
0	0	29,539,848	29,682,950	△ 143,102 △ 0.5
0	0	988,853	535,633	453,220 84.6
12,537,474	0	12,537,474	0	12,537,474 皆増
0	62,282,840	62,282,840	58,432,221	3,850,619 6.6
12,537,474	62,282,840	3,442,640,631	3,435,017,285	7,623,346 0.2
0	58,432,221	3,435,017,285		
12,537,474	3,850,619	7,623,346		
%	%	%		
皆增	6.6	0.2		

4 翌年度繰越額科目別内訳

(1) 一般会計

款	項	目	予算現額
			円
2 総務費	5 防災救助費	防災総務費	2,343,207,818
3 企画振興費	1 企画振興費	企画振興総務費	2,725,177,000
		企画通対策費	9,682,384,126
4 県民文化スポーツ費	2 文化スポーツ費	文化一振興費	3,223,054,000
		ボス振興費	1,296,645,000
5 健康福祉費	1 高齢者福祉費	高齢者対策費	17,357,925,000
	3 障害福祉費	障害福祉総務費	7,273,140,342
	5 健康推進費	難病核対策費	2,111,398,000
		保健環境費	652,527,280
		保健全所費	1,075,256,697
		医療看護費	1,963,688,000
6 生活環境費	1 生活環境費	生活環境企画費	535,870,000
		自然管理費	625,719,000
7 商工労働費	1 商工費	商貿工易費	3,422,917,000
		中小企業費	566,732,000
	2 労働費	雇用費	26,917,577,000
8 観光費	1 観光戦略推進費	観光振興費	3,346,809,000
		国際振興費	39,435,000
9 農林水産業費	1 農業費	農業振興費	2,535,430,000
		里山振興費	376,745,000
	2 畜産業費	畜産振興費	3,451,401,353
		畜生衛生費	9,577,779,000
	3 農地費	農業整備事業費	3,570,941,000
		地防事業費	1,234,265,000
	4 林業費	造林道山費	517,825,000
		治水港業費	13,337,507,030
	5 水産業費	漁港建設費	2,426,496,860
10 土木費	2 道路橋りょう費	道路建設費	4,718,012,932
		河川改整費	1,084,357,360
	3 河川海岸費	河川改整費	2,227,324,796
		砂防施設費	422,160,000
		砂防施設費	990,470,000
	4 港湾費	砂防施設費	38,040,251,568
		砂防施設費	11,018,575,612
	5 都市計画費	砂防施設費	19,489,316,886
		砂防施設費	618,192,616
		砂防施設費	926,664,708
		砂防施設費	9,133,363,723
		砂防施設費	487,320,341
		砂防施設費	1,874,314,780
		砂防施設費	6,762,876,285
		砂防施設費	2,016,742,200
		砂防施設費	1,624,686,235
12 教育費	6 建築住宅費	建築整備費	6,172,706,048
	2 小中学校費	立中学校管理費	1,480,562,485
	3 高等学校費	高等学級費	918,923,549
	4 特別支援学校費	特別支援学校管理費	3,841,317,773
	5 社会教育費	社会文化財費	346,901,000
13 災害復旧費	1 農林水産業施設災害復旧費	耕地災害復旧費	94,200,000
	2 土木施設災害復旧費	林道災害復旧費	2,924,590,400
		土木施設災害復旧費	1,265,799,000
		土木施設災害復旧費	464,371,800
		土木施設災害復旧費	1,178,479,307
		土木施設災害復旧費	456,193,593
		土木施設災害復旧費	1,197,519,200
		土木施設災害復旧費	1,564,001,640
	合	計	

支 出 濟 額	翌 年 度 繰 越 額		翌 年 度 繰 越 額 財 源		
	繰 越 明 許 費	事 故 繰 越 し	既 収 入 特 定 財 源	未 収 入 特 定 財 源	一 般 財 源
円	円	円	円	円	円
2, 284, 332, 842	25, 027, 000	0	0	25, 000, 000	27, 000
2, 682, 473, 141	37, 622, 300	0	0	34, 311, 652	3, 310, 648
8, 186, 834, 401	1, 462, 095, 664	0	0	998, 378, 010	463, 717, 654
2, 189, 451, 334	1, 024, 594, 828	0	0	927, 923, 000	96, 671, 828
1, 261, 076, 193	26, 413, 000	0	0	19, 000, 000	7, 413, 000
17, 085, 350, 233	263, 974, 000	0	238, 147, 000	20, 160, 000	5, 667, 000
6, 597, 359, 321	219, 291, 000	0	0	146, 194, 000	73, 097, 000
1, 806, 334, 362	172, 531, 118	0	27, 000, 000	74, 265, 559	71, 265, 559
561, 148, 472	90, 000, 000	0	0	45, 000, 000	45, 000, 000
1, 067, 391, 592	5, 400, 000	0	0	2, 700, 000	2, 700, 000
1, 821, 729, 843	129, 083, 000	0	119, 355, 000	9, 728, 000	0
499, 362, 942	31, 500, 000	0	0	31, 500, 000	0
594, 450, 446	26, 510, 000	0	0	23, 000, 000	3, 510, 000
3, 381, 416, 987	32, 269, 000	0	0	32, 269, 000	0
530, 615, 628	31, 000, 000	0	0	0	31, 000, 000
26, 789, 823, 063	36, 000, 000	0	0	0	36, 000, 000
3, 332, 427, 967	10, 000, 000	0	0	5, 000, 000	5, 000, 000
29, 325, 862	7, 370, 317	0	0	0	7, 370, 317
1, 771, 727, 348	743, 300, 000	0	0	255, 400, 000	487, 900, 000
143, 824, 915	228, 700, 000	0	0	19, 100, 000	209, 600, 000
3, 105, 804, 128	297, 395, 000	0	0	297, 395, 000	0
8, 771, 006, 001	796, 609, 000	0	0	796, 609, 000	0
3, 565, 757, 729	3, 600, 000	0	0	3, 600, 000	0
888, 267, 299	339, 960, 000	0	0	190, 950, 000	149, 010, 000
335, 467, 201	177, 000, 000	0	0	162, 290, 000	14, 710, 000
9, 501, 170, 782	3, 788, 011, 124	43, 866, 400	22, 123, 104	3, 644, 860, 401	164, 894, 019
1, 663, 519, 975	760, 352, 900	0	3, 613, 930	731, 723, 020	25, 015, 950
3, 654, 885, 366	1, 059, 236, 501	0	44, 517, 355	767, 553, 800	247, 165, 346
542, 436, 215	433, 687, 460	0	0	413, 062, 550	20, 624, 910
1, 651, 469, 763	572, 062, 922	0	0	557, 607, 000	14, 455, 922
363, 172, 914	57, 198, 000	0	0	53, 599, 000	3, 599, 000
794, 649, 000	195, 821, 000	0	5, 065, 200	179, 511, 000	11, 244, 800
24, 625, 938, 959	13, 310, 881, 741	0	0	10, 466, 519, 028	2, 844, 362, 713
8, 718, 350, 446	2, 298, 834, 750	0	93, 386, 781	2, 072, 507, 586	132, 940, 383
12, 503, 962, 968	6, 984, 493, 757	0	0	6, 786, 659, 812	197, 833, 945
297, 763, 580	320, 212, 188	0	9, 017, 041	296, 901, 914	14, 293, 233
731, 475, 718	194, 956, 411	0	0	186, 000, 000	8, 956, 411
6, 052, 110, 679	3, 080, 309, 942	0	28, 233, 730	2, 928, 197, 080	123, 879, 132
284, 277, 013	202, 755, 096	0	0	201, 000, 000	1, 755, 096
1, 231, 668, 895	642, 422, 880	0	0	632, 865, 440	9, 557, 440
6, 468, 547, 822	290, 648, 930	0	1, 970, 100	239, 194, 807	49, 484, 023
1, 322, 508, 469	693, 708, 425	0	26, 367, 300	641, 844, 818	25, 496, 307
816, 653, 692	807, 529, 435	0	0	212, 646, 329	594, 883, 106
3, 726, 809, 275	2, 445, 305, 597	0	77, 114, 535	1, 579, 373, 085	788, 817, 977
1, 089, 206, 151	391, 049, 716	0	1, 034, 750	216, 962, 646	173, 052, 320
810, 268, 889	107, 900, 000	0	0	99, 400, 000	8, 500, 000
2, 182, 124, 380	1, 656, 956, 258	0	27, 635, 000	1, 550, 806, 766	78, 514, 492
239, 830, 081	104, 359, 000	0	0	93, 000, 000	11, 359, 000
80, 402, 744	3, 600, 000	0	0	3, 600, 000	0
2, 147, 770, 066	523, 104, 800	0	0	466, 885, 000	56, 219, 800
1, 181, 432, 594	7, 065, 000	0	0	7, 065, 000	0
284, 056, 740	162, 210, 000	0	0	162, 105, 000	105, 000
1, 173, 256, 429	1, 380, 000	0	0	0	1, 380, 000
407, 939, 960	30, 561, 943	0	0	30, 561, 943	0
547, 947, 421	598, 431, 000	0	0	585, 057, 000	13, 374, 000
1, 365, 927, 642	195, 810, 100	0	0	117, 980, 000	77, 830, 100
	48, 138, 102, 103	43, 866, 400	724, 580, 826	40, 044, 823, 246	7, 412, 564, 431

(2) 特 別 会 計

科 目			予 算 現 額
款	項	目	
1 港湾整備事業費	2 整 備 費	整 備 費	円 556,000,000
1 流域下水道事業費	1 建 設 費	梯 川 处 理 区 費	1,097,899,972
		大 聖 寺 川 处 理 区 費	696,285,346
		犀 川 处 理 区 費	1,156,106,334
合 計			

支 出 濟 額	翌 年 度 繰 越 額		翌 年 度 繰 越 額 財 源		
	繰 越 明 許 費	事 故 繰 越 し	既 収 入 特 定 財 源	未 収 入 特 定 財 源	一 般 会 計
円 491,000,000	円 65,000,000	円 0	円 0	円 65,000,000	円 0
509,515,749	526,212,079	0	0	526,212,079	0
127,471,796	557,353,043	0	0	557,353,043	0
493,362,437	638,787,389	0	0	638,122,989	664,400
	1,787,352,511	0	0	1,786,688,111	664,400

5 債務負担行為調

区分		平成30年度末 現在高	令和元年度中増減		令和元年度末 現在高
			新規設定	予算化額等	
一般会計	公共・國建 公災・その他	千円 29,001,572	千円 12,440,344	千円 11,473,996	千円 29,967,920
	単独事業費	10,181,531	13,583,751	8,938,085	14,827,197
	計	39,183,103	26,024,095	20,412,081	44,795,117
特別会計	港湾整備	88,808	326,100	39,347	375,561
	流域下水道	2,874,929	670,000	1,729,920	1,815,009
	計	2,963,737	996,100	1,769,267	2,190,570
合計		42,146,840	27,020,195	22,181,348	46,985,687

年度別現在高推移

区分		年度末現在高	対前年度増減高
一般会計	平成24年度	千円 元金のみ 15,822,484	千円 △ 3,854,396
	平成25年度	〃 16,697,601	875,117
	平成26年度	〃 21,125,790	4,428,189
	平成27年度	〃 16,789,519	△ 4,336,271
	平成28年度	〃 18,862,867	2,073,348
	平成29年度	〃 37,933,636	19,070,769
	平成30年度	〃 39,183,103	1,249,467
	令和元年度	〃 44,795,117	5,612,014
特別会計	平成24年度	〃 3,069,663	△ 937,689
	平成25年度	〃 1,862,868	△ 1,206,795
	平成26年度	〃 4,055,200	2,192,332
	平成27年度	〃 3,718,239	△ 336,961
	平成28年度	〃 2,264,162	△ 1,454,077
	平成29年度	〃 3,959,360	1,695,198
	平成30年度	〃 2,963,737	△ 995,623
	令和元年度	〃 2,190,570	△ 773,167

令和元年度
石川県歳入歳出決算審査意見書
基金の運用状況審査意見書

令和2年8月発行
石川県監査委員（監査委員事務局監査第二課）
〒920-8580 石川県金沢市鞍月1丁目1番地
直通電話 076-225-1863
FAX 076-225-1864
<http://www.pref.ishikawa.lg.jp/kansa/index.html>
メールアドレス kansa@pref.ishikawa.lg.jp